京城日報

十月二十五日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨帝講和大反對
皇帝退位可否審議
當局米國の調和的態度を希望

【倫敦來電】獨逸軍隊がカムブレーよりヴェルダンに亘る陣地よりの退却を繼續しつゝある一方獨逸國内に於ては極めて重大なる出來事續々として發生しつゝあり獨逸政府當局は米國大統領に對し十分の滿足を與へ得ずとするも調和的態度に出でんことを希望し居れるが這は獨帝及びヒンデンブルグ元帥ルーデンドルフ將軍等の異議を挾む所にして彼等は獨軍の占領地撤退に反對なり特に獨帝の如きは宰相の講和提議に對して極力反對を唱へたる由にて目下皇帝の退位可否に就き審議せられつゝありと傳へらる而して獨逸國内の形勢に關し注目すべきは獨帝が最近聯邦君主會議を召集せることゝ及び近來貴族出身の官吏は罷免され一層民主的傾向を有する新人物を以て是に代へつゝあることゝ是なり(東京特電)

◇佛紙獨回答批評
聯軍の勝利を無視せる言分

【巴里來電】獨逸の對米回答に對する佛國新聞批評大要如左(東京特電)

一、ウイルソン大統領が保障を求めたるに對し戰線に於ける現在の實勢を基礎としての休戰の保障を承諾すと謂へるは聯合國側勝利の結果を無視せんとするものにして許す可らざる言ひ分なり

二、獨逸の名譽と相容れざる平和を承諾せざる旨を言明せる點も得ず日右文字を基礎として交渉の餘地を存せんとする獨逸の畏なり

三、國際法違犯の行爲を辯護し且つ調査委員を設けんとする獨逸の遁辭は獨逸の狂言にして此點は休戰問題と關係無きを以て吾人に讓りて可なり

四、獨逸の試みたる内政改革は民主主義を裝ふ假面に過ぎず

◇獨逸非行調査

【東京所著電】=ウルフ來報に依れば西班牙、和蘭兩公使及び自國救助委員會員等はウイルソン大統領の對獨回答中に述べたる海陸に於ける獨軍の非人道的行爲に關する調査會をブラッセルに開けるが右は自發的か又は故意に獨逸の依頼を受けしものなるか不明なり(東京特電)

◇武藤少將イ市著

【東京所著電】=既にイルクックに派遣を命ぜられたる武藤少將一行は去る十二日イルクックに著し日本居留民、露國官憲、チェック軍代表者等の歡迎を受けたるが又極東視察中のオムスク政府陸軍大臣イワノフ浦鹽より歸任中のウオロゴトスキー總理も武藤少將を訪問し敬意を表せり(東京特電)

◇辭令

二十四日左の通り辭令ありたり(東京特電)

任大藏省理財局長(二等) 大藏省銀行局長 森 俊六郎
任大藏省銀行局長(二等) 神戸税關長 小野 義一
任神戸税關長(二等) 大阪税關長 川崎 卓治
任大阪税關長(二等) 大藏書記官 松本 脩

◇長官局長動靜

國分司法部長官持地遞信局長官荻田總務局長は廿三日夜大連著大和ホテルに投宿し二十四日旅順に赴き都督を訪問し即日大連に引返し滯在中なり(大連特電)

◎露國救援の要
リウオフ公談

前露國臨時政府首相リウオフ公は去十八日米國に向け東京を出發するに先だち國際通信社代表者と會見せるが公は獨逸が休戰先決條件として占領地撤退を承諾したりとて露國の飛電に就き甚だ望みを屬せず獨逸軍の西部撤退は彼が思ふ所なりて不本意ながらも斷念せんとする所なり白、伊、佛及びアルサス、ロレーンは彼れ到底之を保つを得べからず唯露國の事は歐洲及び世界の將來を考定するに於て大いに留意を要すこと左の如く語れり(東京)

獨逸は口には露國より其軍隊を撤退すと謂はんも彼は今既に過激派を驅使し經濟上の實權を制握し其勢力遠く西伯利亞國境に及び殆ど基礎不拔の觀あり西部の占領は元確實なりといふに非ざるが故に彼にして露國の領土及び

▲大資源を 掌握し得る限りは悦んで西部の闘を收め東方に轉向し全露を征服するに努むるならん然らば獨逸の世界に及ぼす患ひは前日よりも更に重きを加ふるに至らん局面此の如きを以て各國の救援は日に急切となる露國にして獨逸が掌中の物となるならば彼は西に失ふて東に收むるもの而かも其收穫は絶大なり聯合國經世家善く此に見る所あり速かに有効なる具體的救濟策を定め之に應ずるの計を爲さゞれば之れ正に獨逸を助けて其志しを成さしむるものなりチェック、スラバアクが聯合軍より有力なる援助を豫期すること能はざるに至らば彼等は全然破滅の外なきを知るに至らん目下彼等に與ふ可き援助は戰鬪に對し

▲能く武裝 し能く準備したる外國軍隊なる聯合軍は協約に依つて戰線を設置し得可し一國の軍隊のみにては露國人に歡迎せられざる可しといふが如きは深く意に介するに及ばず吾人の要求するものは援助なり蓋し援助は聯合國間の會議若しくは意志の一致に依りて與へらるゝこと及び只一國の軍隊にしても共同委任の下に行動するものなる事を知れるが故に吾人は吾人に援助を與ふるものならばその何人たるを問はざるなり先に重大なるが如く思はれたる問題は外國兵をして露國に入らしめば露人を驅りて獨逸の掌中に投ぜしむ可しと云ふにありき而も是等は斷じて起らざるのみならず今日の情勢より見れば援助を與へられざる事あらば却つて露國民をして獨逸に倚賴せしむるに至るやも知れず

◎穀物鐵道運賃改正
十一月一日より實施

從來朝鮮鐵道にては米穀類の輸移出を奬勵する爲め運賃を遞減し低廉なる特定運賃法を設け來れるが時局による船腹の不足は海運賃率の騰貴を來し爲めに鐵道による運賃は船腹によるものよりも

▲低廉となり 其間較からざる懸隔を生ずるに至り假令ば仁川發大阪著大豆運賃に就て見るに鐵道の方五圓以上の廉價となり同港より船舶によらずして鐵道による移出貨物尠からざるの現象を生ずるに至れるより此際各海港に出づる運賃を低下し同時に遠距離運賃の値上を爲し海陸運賃を調節し各海港に搬出貨物の分配をして權衡を得せしめ以て陸滯貨物の減少を期せんが爲め滿般來穀物に對する鐵道運賃改正の議ありしが今回愈之が實施を爲す事に決定し鐵道局に於ては

▲左の通り發表 し十一月一日より實施する事となれり

穀類及び大豆に對する從來の特定運賃を廢止し十一月一日より向ふ半箇年間左の如く特定運賃を定む

朝、綿各驛發釜山、草梁、馬山、舊馬山、木浦、群山、龍山、南大門、仁川、元山、城津、鎭南浦、兼二浦、義州南設所著穀類車扱二百六十四哩未滿一噸一哩に付一錢一厘

運賃の改正と同時に一方京城仁川の商人は傭船組合を組織し自ら船をチャーターして仁川大阪間の航運に當てんとするの計畫あり

◎哈市水道設計
東拓の手にて成る

東拓の手にて成る東拓京城支店の關屋土木課長は社命を帶て今夏ハルビンに赴き同地上下水道に關する實地踏査をなして歸任し爾來その設計等に付切りに調査を進めつゝあるが尚は二三細部に亘る研究の未了のもの最後の結論を與ふるには至らざるも略ぼ出來せる由なり尚ハルビン上下水道の敷設は同地の電車と共に東拓を中堅として生れ出でんとする事業會社にて經營せんとするものなれどもその實行までには未だ多くの日子を要すべく高瀨東拓理事主として各方面に盡力奔走し今回石塚總裁の哈爾賓行きもそれらの用向きを帶べるものならんと觀測さる

◎定例長官會議

二十五日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督以下各部長官局長及び所屬官署長參集諸般政務に就き協議せり

◆東拓の北進南進
西伯利亞滿洲青島方面の事業
石塚東拓總裁車中談

二十四日夜入京せし石塚東拓總裁の談に曰く今回の旅行は滿洲方面が主であるか、朝鮮は殆ど素通りの同樣である、先づ

▲哈爾賓に北行 し哈爾賓より南下大連より青島に渡り十二月上旬までに青島から歸京したいと思つてゐる、内閣も更迭したが今の所東洋拓殖會社の事業は從來と何等異なる所なく進めて行く方針である、今回のハルピン行の用向かね、事業の關係上であるが事々しくお話し得る問題はない、唯だ行けば西伯利で經營しようとする事業會社の創立に就いて多少の調査もやらうし哈市の主なる人々との間に協調を必要とする事もあるであらう、東拓も昨年來東京の瀛洲興業會社の創立に關係し滿洲では

▲東省實業 の新設、ハルビン電氣の買收、遼東銀行の增大並に京城の東洋畜産等各種事業を手に入れ其の生い出しを援けた、更に本壞ではモンド瓦斯事業を計畫し奉天では小さい乍ら石綿會社の新設を近く發表し得べく吉林省の北部で森林の經營をやる事業會社を組織すべく折角協力中だが、どうも事業會社と云ふものは假へば銀行などと云ふやうな單純なものと違ひ若くは擴張するものと異なり國内の會社でも色々の關係が諸方面に湧き更に日支合辦とか日露合辦とか云へば中々面倒なものでその

▲事業の成立 をやらすには少からぬ困難がある、西伯利で活動すべき極東興業會社の計畫の如きも俄にその實現を見難いのは單純に行かぬからである、極東興業の事も姑く措くも東洋拓殖會社、西伯利の財政經濟援助には相當の盡力を致したいと思つてゐる之等の件に就ては目賀田西伯利經濟援助委員長とも數次會見し色々立案もしてゐる、予の歸路青島に立ち寄るのは同方面に多少手を擴ける必要を生じたからである然し當分青島には東拓として直接手を出さない、東拓の與り會社たる東省實業會社によつて若干の事を行りたいと思つてゐる—本年の

▲會社の成績 は朝鮮で米もよく出來たし滿洲の金融並に事業投資も相當の成果を擧げてゐるから之を前年に比し素より遜色はない、然し利益の增大は各種の償却と積立に充當せねばならぬ、殊に會社は本社の建築も必要であるから中々金が要る

◎朝鮮より支那へ
初見參の朝鮮、三井と朝鮮、兩氏の戰局前途觀、米國の絹織物製織制限
三井兩重役交々談る

二十三日夜入京せし三井王國の首腦相合名會社理事長團琢磨、同銀行界の逸材三井銀行常務米山梅吉兩氏の一行を車中に迎ふ、

▲團理事 長は曰く、多人數で來たから何か知ら事々しく見ゆるけれど一、吾々の旅行の目的は三井關係事業の視察並に不斷御援助を受けてゐる朝野の諸氏に對し御挨拶をなすためのもので

▲三井の滿鮮 に對する事業方針と云ふ事は別に取り立てゝ申す程の事もないが幾分でも此の方面の發展開拓に力を効し國家のために働きたいと考へてゐる、今後も此の方針に合致せる相當の事業があれば三井は投資を辭せないのである、予は初めての來鮮であり殊に未だ京釜沿線を汽車で瞥見したに過ぎないが兎に角その短い間の感想を以てするも朝鮮の開拓が遙に豫想以上に進んでゐるのに驚いた、予は内地にゐて朝鮮は何こなくバッとした平野蘊きのその平野も不毛の地が餘程多からうと思つてゐたのに、事實は鬱目殆ど内地と差がなく田畑もよく耕されてゐる、唯今後力を入れなければならぬのは—從來も力を注がれてはゐようが—植林並に田畑耕作の改良であらう

▲植林は三井 も若干試みてゐる、然し乍ら今後も[illegible]水田の米作の改良の如き棉花作付の增加と共に米國のために朝鮮では餘程盡力して欲しい、日本の食料米は兎角の議論の餘地はない、要するに不足なのである、それを補ふには朝鮮米の增收を圖りその供給に待つのが第一策である、棉花の如きも朝鮮にドレ丈け作付可能の面積があるか予の未だ知り得ない所だがこれは本邦のために何程でも作付を殖して欲しいと思ふ

朝鮮の製鐵事業を三井で企畫せぬか このお尋ねですか、平南价川鐵山の鐵石は北海道製鐵會社と滿洲の本溪湖に現に這つてゐる、それで僅に引合つてはゐるが、外に尚ほ有望な鐵山があればつまり鐵石の量に於て十分の見込みが立ち

▲製鐵所の經營 が可能だと云ふ事になれば經營つて見たいとも思ふ、或は何れやる事となるかも知れぬ、然し乍ら今日に於て明言は致し兼ぬる次第である、聞く所によれば現在朝鮮の鐵業界は鐵を除くと總て不振の狀態にあるとの事だが、之れは戰時の現象であつて時局の轉同とともに又その戰時時代を迎ふるであらう、半島の鐵業方面も予はその開濟今後にあるべしと考へて居るものである

—戰局の前途觀 を聞けば曰く峠は越てゐる、然し講和の期が目前に切迫したかと云はゞまだらうは云へまい、若し獨逸が尚ほ兵力を以て爭ふと云ふ事になれば聯合軍の力で押して行つても尚ほ相當の時日を休戰までに必要とはせぬ乎、唯獨逸に内亂でも起るやうな結局内部から毀れて來るやうなことになればこれは存外早くバタバタ片付かぬものでもない、その邊が未だ確と分らぬ更に士耳其が降服し

▲墺太利が閉口 する事になれば自然獨逸も寂滅するやにも[illegible]何れにせよ上述は予の見込ではある、然し確は立木や岩石に遮られて見通しがつかぬと云つた方が適當だらう—三井銀行の

米山常務は談る、京城日報その他で讀んだり聞いたりはするが滿鮮並に支那方面は曾て通過したと云ふだけで實際上の智識を有たぬから今回單なる視察に出かけて來たのです、何等一の事業なりを計畫しその調査に出かけたと云ふのではない、予も主として鮮滿並に支那の金融方面を瞥見し併せて

▲三井の各事業 を視察したいと思つてゐる、三井銀行は支那方面には上海の如きに店舖の進出を行つたけれど朝鮮滿洲方面は朝鮮銀行と正金銀行が餘力を盡さず活動を續けられ何等不足はないのであるし遠い將來はいざ知らず近い時代に於て三井銀行が支店の新設等を行ふ如き事は全く考へてゐない、朝鮮開拓の進步には驚嘆の資見に過ぎぬ寡少な余の智識を以てするも驚いてゐる、唯今後大いに力を注がねばならぬのは植林であらうと思はれる、植林も山や土質の關係は余等の如き素人にも有望と考へらる—

戰局の前途觀に曰く 講和期が切迫したと云ふ事は未だ云へまい、何故なら獨逸はその全部を投出して聯合國に降を乞ふ程弱れりとは信ぜられぬからである、獨逸は今回の提和によりその一國の面目の保持が可能ぬなら尚ほ小戰爭を續くる覺悟ではあるまいか、又聯合軍にしても

▲英佛の强い腰 並に米國の參加の亞米利加の國論より見るも半可の講和は結びさうにもない、殊に亞米利加は自國の參加により大戰の形勢を變じ自國の兵力の增遣により獨逸を屈伏せしめたと云ふその名譽その歷史に留むる事實を非常に貴重するであらう、此の世界のための[illegible]を繼ける計畫ではあるまいか、それに露國方面に喰ひ込んだ獨逸の勢力あり、各種の關係は相錯綜してゐてすぐにも平和時代を迎へようと觀測するのは予等は寧ろ難い、又米國の絹織物生產制限は傳へらるゝ如く動力と燃料の節約から來てゐるらしい、唯燃料の石炭は昨年來の增掘りや各種の實驗に鑑み餘程その調節をなし得るやうになつてはゐるが尚ほ

▲軍需製作工場 の擴大に連れその使用制限を必要とした事情もあるものだらう又製織業の從事者は主として女であるのとその生產品は日常缺くべからざるものとなつてゐる、係上米政府の戰時政策より來る制限も今日までは免れてゐたが動力節約と云ふ必要の前には止むを得ず製織制限の處置に出でたのであらう、從つてその制限も過去三年間の製織不均衡の元割を十一月一日より向ふ六箇月間に行ふと云ふ事になれば日本の斯界は著しい打撃を受くる譯だがそこに多少の緩和の餘地は得らるゝのであるまいかと思はる。

◎東京支店開期

漢城銀行の東京支店は京橋區南傳馬町に家屋を選み既に過日來諸般の準備を講じつゝあるが支店長には現在壞支店長淺井佐一郎氏就任の事に内定開業期は十二月二日の豫定なりと

◎侍從武官通過

此度滿洲方面の巡遊の聖旨を奉戴し西伯利方面に出張中なりし侍從武官陸軍少將尾藤知勝氏は出征部隊慰問の用務を了へ歸任の途次二十五日午前八時京城著同八時四十分發南行せり

□金剛山より
大町桂月

二十日から金剛山を見物致候二十一日叢石亭へまゐり申候
心をば松ふく風に殘し置きて月におりゆく金剛の山

◎村田武官視察

村田總督府附武官は朝鮮に於ける秋季演習視察の爲め二十七日より三日間の豫定を以て東方面に向け出發せり

◎小原長官歸任

小原農商工部長官は新義州營林廠、不二農場、价川鑛山、平壤鑛業所、鎭南浦、滿洲、開城等を視察中なりしが二十五日開城發同日午後五時廿分南大門着列車にて歸京せり

◎三井重役歷訪

三井合名會社の團理事長同銀行の米山常務の一行は二十五日高野店長の東道にて總督府朝鮮銀行東拓殖鐵その他を歷訪夜は朝鮮ホテルに官民有力者を招宴せり

◎石塚總裁動靜

朝鮮ホテルに投宿中の東拓總裁石塚英藏氏は二十五日風邪の氣味にて外出せずホテル内にて調査物をなし訪客に接したり二十六日總督府その他訪問[illegible]二十七日午前九時五十分南大門發奉北行の豫定なり

◎沖野茂木兩氏

前內務技監沖野忠雄氏並に內務省港灣調査會委員茂木鋼之氏は仁川築港開船渠竣功式參列の爲め二十五日朝釜山上陸總督府坂出技師の出迎へを受け釜山港を視察したるが午後十一時三十分發列車にて北行の筈(釜山特電)

◎鮮銀披露宴

新任朝鮮銀行頭取三島太郎氏は同行開業披露の爲め廿四日午後七時朝鮮ホテルに民間側有力者百五十餘名を招待し晩餐會を開けるが頭取の挨拶に對し嘉納鮮銀副總裁の謝辭あり同九時散會したり

人事消息

▲藤原正文(支那交通銀行顧問) 二十五日午後入京天眞樓へ
▲林小吉氏(群山不二商業取締役) 廿五日入京龍尾へ
▲稻頭氏(辯護士) 大邱出張中の處二十六日歸京
▲岡山縣教育視察團 去る十二日滿洲方面視察の途に就きたる一行二十二名は廿五日午後五時入京二十六日午前八時四十分發列車にて水原に向け出發の筈

茶前酒後

◆墺匈國は解體し、新に聯邦組織たらんとす。此の問題は、新しきが如くにして、決して新しきものに非ず。サラエヴオに於て、無名の一青年の兇手に斃れたる、墺國皇儲フェルヂナンドの如き、既に此の意見を懷き居たり。而して此の企圖の爲に、フェルヂナンドの横死が、世界大戰の導火線となり、遂に未曾有の戰況を演出するに至りぬ。墺匈國が瓦解して、聯邦獨立國の樹立を見んか、今後の國際政局に、益々紛糾を來し、墺匈國は更に、第二の巴爾幹として、中歐の伏魔殿として、永く其禍根たるに至らんか。

◆支那の南北妥協は、聊か聞き飽きたる心地す。出來相にて出來ざるものは難産也。徐世昌と梁士詒が産婆役として、頻りに奔走する處は、早晩すべからざる事實なるも、米國より遙々醫師を迎へんとするは、其間に於ける魂膽ありと知らずや。お隣の醫師の門前には、何時も雀羅を張るは、殘念なるに非ずや。

◆短見、蠻勇、寧ろ愛すべき張勳が。毅然として和蘭公使館に在りて、大いに其意氣を發揮しつゝありし張勳が、特赦放免せられたるは面白し。然れども彼亦清朝の孤忠、徐世昌と雖も亦、心窃に清朝の孤忠を以て任ずる者、兩々相救相援は當然也。張勳たる者、徐の此の友誼に對して、如何に答へんとするか。

◆南亞に於て、恐るべき一種の傳染性感冒流行し。歐米人の死する者、一日數千人を算し、ケープコロニーの如き、二週間に五千人の死者ありて、將に其存亡に關せんとし。更に進んで、既に馬來半島を襲ひ、新嘉坡に侵入し、百餘名の[illegible]

◆新嘉坡と日本とは、交通上多大の關係を有す。彼の黑死病の如き一度新嘉坡に臨盛を見んか、直ちに香港、上海を經て、日本に飛來するが常也。衞生上より見れば、日本は將に其危險區域に、近付きつゝあるが如し。

◆さなきだに流行性感冒は、今や日本內地及び、朝鮮、滿洲を襲うて、其病勢猛烈を極む。更に此の警報を得るに及んで、吾人戰慄の禁ぜざるものあり。今に於て速に之が豫防の策を講じ置く亦、徒事ならざらん事を懼ふ。

大島紬見本進呈 [illegible] 岩松屋

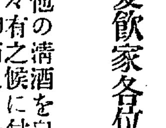
東京山本大印石版活版インキ特約販賣店
門國火災保險株式會社
大阪海上火災保險株式會社 京城代理店
つちやたび並ニいろはたび 朝鮮代理店
貿易雜貨商 京城本町三丁目 藤富國太郎商店 電話三〇八番 振替京城一七八番

ストーブ新荷著
和洋ストーブ
附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料

京城本町二丁目 岩見商店 電話貳一參番

米價崩落
講和問題、新穀出廻、買方滿腹及び外米關税撤廢等一として米價低落の因たらざるなし、時局を觀望し戰機を窺ひ居たる諸士出動の時は今也、弦に第九回を組織す、從來多大の配當をなしたる本會が此好機に更に多額の配當をなし得るは勿論なり、敢て諸士の急速參加を俟つ
申込期間十一月五日
第九回加入金一口參拾圓
▲會則贈呈▼
日本信託商會證券部
期米壹同氣會
大阪市北區堂島濱通一丁目二二 電話北(長)二七二・一九〇四・振大阪四〇五六九

支那書畫骨董珍品壹千點
空前の大競賣會
▲支那各地に於て集中したる逸品珍器に御座候
日時 十月廿五日下見 廿六日(正午)賣
場所 本町二 競賣會社樓上
荷主 松田初太郎
世話人 清水建雄
京城競賣株式會社(電話七八四)
▲縱覽隨意▼


白鶴 愛飲家各位に敬告
近來粗惡なる他の清酒を白鶴印と稱して販賣する者往々有之候に付弊社は愛飲家各位の御安心と御滿足を得んが爲茲に元詰壜入白鶴を各特約店に托し破格の直段を以て販賣仕候間不相變御愛顧願上候
白鶴印一升壜入壹本 金壹圓卅五錢
拾壹月中迄京仁地方賣價
釀造元 嘉納合名會社

小鳥捕用 カスミ網
極上絹糸製◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
高さ六尺二棚 横巾三間二圓 / 高さ六尺三棚 横巾五間四圓
京城永樂町三丁目 吉備商會 電話二一四番 振替京城二三六番

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

◎大井師團長以下 聖旨に感泣す

出征將卒は孰れも元氣 冬營は左程困難でない

鐵嶺派遣軍御用掛 尾藤少將談

別項記載の如く長き邊の聖旨を有せざるは誰せられ前る自由を有せざるは誰せられ唯今回聖旨を奉戴して我浦鹽派遣軍總司令官大井中將以下の將卒が孰れも元氣旺盛にして軍所に滯在中なりし時從武官陸軍少將尾藤知勝氏は二十五日午前京城通過南行したるが氏は同車せる記者に語りて曰く

※余の慰問を命ぜられたる部隊は 近く鐵嶺に上陸後順次第十二師團にして鐵嶺に上陸後順次鐵道沿線の各部隊に 聖旨

※比較的溫暖に して

なるに一驚を喫したる位なりき然るも已に低溫の時に迫りつゝある折柄の事とて凍傷者は續出し而も病勢益々募りつゝありて同地は是が爲め全く荒廢に歸せんとするの悲慘なる狀態にあり此際ぐべき悲慘無慘は先日來馬來半島にも侵入し來り新嘉坡のみにても既に死者百名を算し人口

※慰問の使命を 帶びて鮮滿を通過

せるがその都度異常の感激を示しつゝあるは在留者諸氏の努力の賜たること炳かにして愉快に感じ居れり

◎戰線の勇士……惡感冒に惱む

第二野戰病院丈に三百名 死亡者十八名に達す

出征第十二師團第二野戰病院長よりの野戰病院にても冬籠りの準備に關する情報によれば昨今西伯利全線軍隊間に最も猖獗なる流行性感冒が蔓延し既に第二野戰病院に收容せるもの丈にても

▲三百名を 超ゆる內死亡者十八名を出したりこの寒冒は更に輕じて悪性肺炎を併發し數日を出でずして重患に陷るものなるより西伯利一帶軍隊は恐慌を來しこれが豫防に努力しつゝあり西伯利の冬はまだ日尚浅しとしては冬營の

▲經驗淺き ゆゑ當局に

ては このことある を豫期し衞生に は少からず研究を重ねたるに今日の如き一時に多數の患者を出したるは誠に遺憾の次第なり殊に死亡率の多きに見れば如何に狂惡なる寒冒か推察するに難からざるべし此等患者は冬季間西伯利に於て療養するは

▲不可能なる 寧ろ新京轉快に後送し加療せしむる事となるべく何れ

◎石灰石から 酒精製造 獨逸の新發明 各國でも研究

四方敵に圍まれ輸入全く杜絶するに至つた獨逸は戰時中炭礦の研究に出でた各種の新發明が非常に多い中にも到底を驚かせたのは石灰石から火藥製造に無くてはならぬ

▲酒精を製造 する事を發見したる一事である獨逸が此の石灰石から酒精を製造する事を發明したのは極最近で目下英佛米の諸國でも大問題として夥しき氣で研究して居るが我國でも酒精を火藥の製造や潛航艇に使用する額は非常に多く陸軍省の外いても

▲百萬圓以上 の使用

◎連絡船上陸客

◎面白い松菓腺の働き

私の提出した論文の主旨

松菓腺が病的に働くと子供が俄に大人になり聲が變つたり髭が生えたりする

近く醫學博士になる 植村醫官談

總督府醫院外科醫長植村俊一氏は近く醫學博士の稱號を授けられることゝなつたが植村博士の研究題目は「甲狀腺結核特ニバセドウ氏病ト關係ニ就テ」と題して昨年の四月に提出したのであります。

◎文展行幸啓

二十九日頃

東宮殿下には二十九日頃天皇皇后兩陛下には二十九日頃皇太子殿下には二十七日頃文展へ行幸啓遊ばさる可しと洩れ承はる（東京特電）

◎余の慰問を命

※閣下に伏奏せる 後に非ざれば何事も

◎一日に數千名死亡

南阿の惡感冒頗る猖獗

阪神地方は船舶大警戒

在ボンベイ領事十六日發外務省への報告に據れば印度の惡感冒は生憎悪なる西伯利の寒氣を前に控へて居れる出征將卒諸氏の勞苦は察するに餘りあり三月頃も盛んに流行せる

惡性感冒は其 勢益猖獗を極め

依れば近來南阿弗利加地方一帶に流行せる

慘なる狀態

にあり此際ぐべき悲慘無慘は先日來馬來半島にも侵入し來り新嘉坡のみにても既に死者百名を算し人口

▼歸還を 命ぜられ

◎光瑤師 肺炎を病む

◎町村長中の 功勞者表彰

◎誘出して 強奪

◎一日に數千名死亡

南阿の惡感冒頗る猖獗

阪神地方は船舶大警戒

◎惡感冒に惱む

第二野戰病院丈に三百名 死亡者十八名に達す

◎戰線の勇士……

◎石灰石から 酒精製造 獨逸の新發明 各國でも研究

◎歐洲だけに棲む 大型『ザリガニ』

黃海道谷山で發見さる

『ザリガニ』は佛語ゼストマの中間宿主にて有名なる『ザリガニ』（朝鮮語にては『ガーセ』）は朝鮮到る所沼に棲息せざる所なき有樣なるも未だ朝鮮產のものは歐洲產の如く大型のものを發見したるを聞かず

小林晴治郎博士の研究

◎悲壯なる 中尉の死

河內の殉難者 屍体發見さる

◎二少年の災難

◎總督府給仕募集

◎松菓腺に 關する研究

◎骨が折れ

◎私の研究

◎百枚に亘 長い主論文に副論文を添へて

◎醫學雜誌

◎內分泌の 研究を發表

◎內分泌に 關する研究

◎人情活劇 熔の氣球

◎活動寫眞 後藤又一郎

◎新派悲劇 毒煙

◎抑制して 居るもので

◎獨逸文で 他は邦文で

◎變りが して聲が大

◎腎變りが して聲が大

◎適度に混合 して電氣を以て高度に熱してカーバイトを製する

◎水中を通過 させるアセトアルデヒトといふもの

◎出來上つた仁川閘船渠

光濟丸と浚渫船の初入港

◎無盡藏に有 るため

▼爆沈の

▼銅像の

◎近く醫學博士になる植村醫官

◎仁川期米

◎仁川期米

◎運送船上陸客

◎連絡船上陸客

◎遞信局

◎人情活劇 暗の手

◎國民劇 壽

◎少年愛國家

◎何種に屬 するやすら

◎神の坩堝

◎灰色の幽靈

◎藤公九年祭

◎訃告

◎追悼會

◎人情活劇 暗の手

◎國民劇 壽

◎少年愛國家

◎何種に屬 するやすら

◎神の坩堝

◎灰色の幽靈

◎藤公九年祭

◎訃告

◎追悼會

◎悲壯なる 中尉の死

河內の殉難者 屍体發見さる

◎二少年の災難

◎總督府給仕募集

◎松菓腺に 關する研究

◎骨が折れ

◎私の研究

◎百枚に亘 長い主論文に副論文を添へて

◎醫學雜誌

◎內分泌の 研究を發表

◎內分泌に 關する研究

◎人情活劇 熔の氣球

◎活動寫眞 後藤又一郎

◎新派悲劇 毒煙

◎抑制して 居るもので

◎獨逸文で 他は邦文で

◎變りが して聲が大

◎腎變りが して聲が大

◎適度に混合 して電氣を以て高度に熱してカーバイトを製する

◎水中を通過 させるアセトアルデヒトといふもの

◎出來上つた仁川閘船渠

光濟丸と浚渫船の初入港

◎無盡藏に有 るため

▼爆沈の

▼銅像の

◎近く醫學博士になる植村醫官

演藝案內

本町五丁目 電話三三八 文樂座

來る十月二十七日ヨリ新派劇俱樂部一行ニテ連々敷開演ス此劇ニ限リ初日廻リ致マセン前日ヨリ木戸ニテ入料金部半額

櫻井町 電話八七三 大正館

當る十月二十五日ヨリ新派劇俱樂部一行ニテ連々敷開演ス此劇ニ限リ初日廻リ致マセン前日ヨリ木戸ニテ入料金部半額

本町二丁目 長電二六〇番 浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館

當る十月廿四日（二日目）

ダイヤモンド一行 浪花館

菊一 吉田奈良春 富士松花蝶 京山 常盤 雪

新內野澤目出吉 名工左甚五郎【續】 淺井烈百傑 染職人情話 女職人情話 堀部安兵衛印籠取

寶澤 吉田奈良春 富士松花蝶 京山 常盤 雪

柳川新派劇部試演會【續】

後藤又一郎

熔の氣球

毒煙

大正館

浪花館

壽館

有樂館

寫眞 京日寫眞製版部

耐久力二倍の靴

軍隊毛布

藥日七病んの

清水染工場

山口藥院

三倉商會高靴店

除痲

電話開通 五百十番

たんせきの良藥 セキドミン

寫眞 京日寫眞製版部

獨探の防止
北滿洲の郵便檢閲と軍事裁判

獨探跋扈政策に依つて成功しつゝある獨逸は最近北滿方面に向つても同政策を施さんとし各國人を使役して暗中大いに飛躍を試み其運動漸次猛烈を極めんとする形勢あるに鑑み北京駐紮各國公使は之が防止策協議の結果支那政府に對し

哈爾賓地方に
敵探防止總局及
郵便物檢査機關

なるものを設置せん事を提議し支那政府も之が必要を認めて已に承認の意を表し目下計畫進行中なり今之を聞くに北滿鐵道を利用して一切敵の入込む行動を防止せんとするものにして其第一着手として郵便檢閲處設置を計畫されたるものにして該局設置の曉は同區域内にありては

何國人と雖ども
勿論皆該局章程

の拘束を受くるものにして若し敵國援助の嫌疑ある者或は協商國方面の利益を妨碍したる者等は其事實を發見すると等しく該局章程に依りて辨理し該處置に對しては

駐紮領事と雖も
容喙するを得ざ

る事に決定し其効力及び設置期間は歐洲戰爭終結と共に撤廢し同時に其効力消滅する者とす而して協商國公使は同機關の外更に北滿に

協商軍事裁判所

を設置し協商國に關する一切の軍務執行機關を備へん事を協商中にして近く實現に至るべしとの説あり該説にして事實なりとせば

其組織は協商各國

の協成にして頗る廣大なる者たるべきは勿論なり此機關に依り敵探の防止は嚴密を加へ將來頗る安全の域に達すべし（奉天）

西伯利

（續）（鳥飼牛坂中學校長談）

◇◇**農業** 農業より西伯利を研究するに即ちヤブロノイ山脈以西ダウル高原地方に於ては甚だしき瘠地にして作物成熟せずそれより北東なるアムール、ゼーア河、ブレーヤ河、流域セシムジヤ河流域等は地層黑壤二尺以上に達し良好なる農業地なり、沿海州に於てはニコリスク市を中心とせる沿線興凱湖の南部地方は是亦良好なる農業地にして將來有望なる地なり、今その耕地面積及び收穫高等を列記せば左の如し

△貝加爾州に於ては耕地三十五萬六千町に關し穀類收穫高五千八百四十八萬四千貫、黑龍州に於ては耕地四十五萬一千六百町歩に關し其收穫高九千二百三十六萬七千貫沿海州に於ては耕地三十九萬三千三百町歩に關し穀類の收穫高四千八百二十八萬七千貫等なり

◇◇**林業** 西伯利亞に於ける林業は全世界面積の十分の三を占め居れりと稱せらる、位にして現在其面積に一億五千五百九十餘萬町歩と算せらる、而して木材は多くは松、杉、唐松、樅、白楊等にして我朝鮮國境よりハバロフスクに至る間の鐵道沿線シホトリアン山脈ニコライエフスクよりハバロフスクに至る間の黑龍江沿岸ゼーア河ブレーヤ河の沿岸北部樺太等我國に接近せる地方のみにつき見るも其林業は實に無盡藏なるが而も未だ之を伐採して出材する等の事業に着手したるものなく之に資する資金の缺乏より荏苒今日に及びたるものならんと然れども沿海州の白楊は現今我國の産業と最も密接なる關係を有するものにして我國に於て使用するマッチ軸木は殆んど之が供給を受け居り只僅に秋田、北海道方面に産する白楊を使用し居れるも其數量に於ては極めて僅少なるものなり此外支那方面より泥楊と稱する軸木原料の輸入するあれど其數量は是亦微々たるものにして一箇年三萬石乃至五萬石に過ぎず然るに我神戸に於けるマッチ製造業者の製軸木高は一箇年約百七十八萬石に達せるより見れば到底微々たる原料の供給にては之が需要を充たす能はざれば將來西伯利に於ける白楊樹は益々我國興業界と密接なる關係を有するに至るべし

西伯利亞の井戸　金谷從軍記者撮影

奥の景氣
家屋と花柳界

◇哈爾賓の呉服物相場◇

最近滿洲奥地の繁榮は素晴らしきものにて其近信に據るときは

高い上に値上げ
家賃は昂るばかり

奉天では結氷期になると其處此處に貸家札の貼られるが例であるが本年は結氷期も迫つたのに貸家拂底の聲が絶えぬ奉天の建築は異數の發達をなし貸家なども澤山建てられたけれど建つ一方から借手があつて中々手に入らぬ尤も三十圓四十圓五十圓と高い家賃の家は往々空家となつて居るがこんな高い家は一般の者には不適當である普通十人が八九人まで十圓から十四五圓の家を狙つてるので此種の貸家を見當てるのは中々困難であるから家主はホクノ＼もので今日空家になると明日は借人が來るといふ調子故段々に家賃を上げて十圓のものが十四五圓になり十四五圓のものは廿圓でないと貸さぬといふ風に漸次家賃の騰貴を來して居る

女中が月百廿圓
眇いのでも四十圓

問題の長春澄の料理店は戰前に比して目下約二割位の増加で藝妓百三十三名内（朝鮮人三名）酌婦百六十四名（内朝鮮人三十五名）平均收入藝妓百八十圓酌婦八十圓揚代などは從來一圓二十錢のが九月一日から漸く一圓五十錢に酌婦も同樣四圓を五圓に値上げした位で同地方面へは多く内地大連公主嶺鄭家屯吉林寛城子等の女が藝者で五百圓から千百圓、酌婦で四百圓から七百圓で抱へられて行くさうである、又旅館の女中の收入は一等旅館で先づ八十圓から百二十圓、二等で四十圓から八十圓、料理店の仲居は四十圓から八十圓位が止まりといふことで

藝妓の稼ぎ高が
一月に五百何十圓

哈爾賓の花柳界はどうであるかといふに九月中の藝妓の稼ぎ高一人平均五百二十四圓を筆頭に四百圓臺が七人三百圓臺が十數人百圓臺抔はザラにある酌婦の取頭五百十二圓で四百圓臺が二人三百圓臺が二十幾人とは驚く許りであるそれから奉天でも九月三百圓以上稼いだ藝妓が四人あるとは何しろ大した景氣である

哈爾賓の呉服屋
もう六七軒てきた

ハルビンも近來頗る滿洲的になつて來たのと之に伴ふ呉服商も次第に殖ゑて目下專門二軒他に四五軒を數へるに至つた今其呉服商の談を聞くに現在ハルビンで最も賣行きの好いのはお召か銘仙若しくは大島である色は主に茄子色藤色が流行し模樣は縞模樣か飛模樣が好まれ縮緬などは羽二重が流行するやうであるが總じて華美な此の地の事故上等品の賣行きよく木綿物などの賣行きは頗る惡いとの事である現在の價格はお召し十圓以上より五六十圓銘仙十二三圓より二十二三圓大島四五十圓より百二三十圓位で今春に比し五六圓乃至十圓位騰貴したさうである

◎溪谷中に出來た
新小都市には
電燈もあれば活話もある

江西無煙炭近況

平南江西郡石面に鑛區を有せる朝鮮無煙炭鑛業株式會社の近況を聞くに同鑛區總面積は三百七十餘萬坪を有し之れを三鑛區に別ち目下採炭しつゝあるは第一區の六十五萬九千三十五坪にして此鑛區は三水平溝道掘鑿を行ひ近く本掘り工事に着手する豫定なり而して昨年十一月より本年五月まで前半期間に於ける採炭量は一萬五千噸に上り本年後期は二萬噸に達する豫定なれば年産約三萬四五千噸見當なり尤も之等は當地方に於て販賣するの目的にあらず唯一部販賣の求めに應じ其他は岐陽驛前煉炭工場にて製造さる、外は全部山元より輕鐵を以て五哩餘青山浦貯炭場に搬出し大同江支流を利用し同江本流なる浦山に千噸級の汽船を入れ本船便を以て大阪其他内地に輸送さる、ものにて尚列車便に依るべく目下岐陽まで輕鐵延長の計畫を爲しつゝありと又岐陽煉炭工場は試驗的小工場に過ぎざるも今回大阪に大規模なる煉炭工場を設置すべく準備計畫中なりといふ而して同炭は火持二十四五時間を有する特長と無臭なる點より木炭代用としての製造に就て種々研究中なりと尚ほ同炭鑛は江西邑に通ずるに約三十町の行程を有し舞鶴山麓の溪谷中に在り交通不便なるも社宅四十五戸人夫家屋二十六戸内地人戸數十名鮮人三百數十名を有し電燈電話等の設備ありて僻陬なる溪谷中に一小都會を造り居れり（平壤）

◎流行性感冒は
朝鮮も支那も
到る處各地に猖獗を極む

今度の流行性感冒は獨り朝鮮のみならず滿洲も支那内地も到る處猖獗を極めてゐるが近著の各地よりの報道に據ると中々終熄に近づきさうにもなく方々で妙から困つてゐる、殊に此の悪性の感冒は誰彼なしに惱ませられて各地とも肝腎な醫師が之に罹つて續々床に就くといふ奇現象を示してゐる、斯くの如く一般を通じて流行してゐるのであるから御互に既掲の豫防法を能く守つて一日も早く此疫病神を追ひ拂ひたいものである

住民の半數を占む
咸興の慘状と元山

咸鏡南道咸興では目下流行性感冒が非常に猖獗を極めてゐる某醫師の談に依れば今や内地人のみの罹患者のみにて實に一千餘名（現在總人口約二千五百人）を算し其狀態名状す可からざるものあり今回の感冒は最も惡性にして一度之に冒されなば發熱少くも三十九度より四十度以上に達するを通例とし若し家内一人にても冒されたる者ありとせば同家は殆ど全滅に陷る狀態にして豫防上何等手の著けやうなし現に市中にて一家全滅に陷りたる氣の毒なる家庭少からず内地人小學校のみにて八十有餘名の罹患者を出し居れり尚ほ此の狀態は單り咸興のみに止まらず咸興元山間に於ても今や熾に猖獗しつゝあり殊に氣の毒なるは咸元線工事に着手する係員及び人夫等にして彼等も殆んど此感冒に冒されざる者尠く或個所の如き全然工事を中止し何十名の人夫等は枕を並べて高熱に唸り居る所もありと（咸興）

官廳も學校も
商人も藝者仲居も

青島にては何れも大弱り

青島よりの報に曰く『此の春流行したと同じ惡性の感冒が昨今猛烈な勢ひを以て到る處に猖獗して居る中でも多くの兒童の集合する學校では二敎室に大抵十四五人の患者を出したり又敎師が之れに罹つて大恐慌を來し官廳なども不思議な程皆が之に侵されて缺勤者續出と云ふ有樣轉じて新町方面に行くと仲居から藝妓に至る迄枕を並べて打倒れ多きは一家擧つて寢込んで了ひ夜などは火の消えたやうな寂れ方で青島病院の内科を始め開業醫は昨今何れも繁忙に目を廻してゐる同じ感冒と云つても消化器から來るものや神經性のものもあるが之は呼吸器から來るので最も性質が惡く何うかすると直ぐ肺炎に變じ易く生命の危險さへ誘致するのだから却々油斷は能きない熱は四十度近くまで行き夫れが二三日續くそして癒り目にも一週熱するのが普通だ何しろ痰とか鼻汁とか云ふものから傳染するのだと聽つて患者に近づきさへすれば忽ち觸接傳染をするから何よりも恐ろしいで誰か一家の内に之に罹るものがあれば家内全體に傳染するのは到底免れぬ處である豫防としては成るべく他人に接しない事で子供なども學校へは已むを得ないが夫以外は外出させぬ樣にし強て外出するなれば野外など人の居ない所を選ぶ必要がある』と

更に北京では
軍隊にも公使館にも
癒す院長さん迄亦缺勤

此の春流行したと同じ惡性の感冒が昨今猛烈な勢ひを以て到る處に猖獗して居る中でも多くの人が共同生活を爲し居る軍隊などは多くの患者を出し又お隣の公使館にも二十人からの患者があり其他到る處病人ならざるは無しと云ふ有樣であるが病狀や豫防法を聞きに同仁醫院へ行くと院長の小菅さんもやはり感冒の爲め缺席して居るとは北京通信の一節である

◎充分の防寒具
◇之れならば大丈夫◇

西伯利出征軍隊に支給せる防寒服は一名分の重量實に二貫六百六十八匁被服より靴に至るまで悉く革又は山羊の毛裏付きで之を普通軍服の上に纒ひ靴も又普通履いて居るものゝ上に穿つものであつて要するに二重の被服を纒ふ事となつてゐる、で零點以下六十度の酷寒と雖も決して寒氣に侵さるゝ心配はない無論内地から出征軍人に對し絹綿等の防寒衣具を送るものがあれど斯樣の心配には及ぶまいとは陸軍衣服本部門司出張所長由家一等主計の談である、防寒服の品別重量を内譯すれば左の如くなる（單位、匁）

品目	重量	品目	重量
胴着	八〇〇	手套	二五
同袖	三〇〇	大手套	一二五
外套袖付	六〇〇	襟巻毛皮	一〇〇
毛メリヤス襦袢	二〇〇	靴下	三八
同袴下	一七〇	靴	四〇〇
覆面	二五	敷皮	一〇
		半袴	四〇〇

◎靈光組合議員　全南靈光學校組合員議選擧の結果左記諸氏當選す
鈴木幸四郎、新居益吉、岡五之助、井上孫太郎、宇田松太郎、久戍元吉

一　花　町　一

▼▲**鎭海** 灣にては鱈の來遊多く例年より約二十五日早く斯る鱈の早來は十年になき事なりといふ

▼▲**鰯漁** も同灣にて近年になき豐漁なりしが過般寒冷射擊の爲め一時逃去りしも昨今又々群集しつゝあり

▼▲**慶南** の自動車は各地に追々交通開始せられ四川固城も近く開通し勿禁通度寺蔚山間も開通す

▼▲**野猪** は南へ行く程脂肪に富み味ひ好き由なれば東萊梁山蔚山等は猪の本場にして獵客多しと

▼▲**安東** 縣にて廿七日滿鐵テニスコートに於て本年度庭球納會を開く各地選手の遠征多く盛況ならん

急告

時下秋冷の候各位益々御清榮奉賀候陳ば目下木材の缺乏は建築界に甚しき打擊を與へ各位の御迷惑少からざる事と存申候此際弊店は平素の御愛顧に酬ゆる爲め各原産地と聯絡を取り一切の木材を最も迅速に且つ最も廉價に御用命を奉じ得らるゝ樣致し居り候何卒倍舊の御愛顧を賜り度偏に御願申上候　敬白

大正七年十月

天龍木材株式會社
中央セメント株式會社　特約店
豆滿江産紅松、杉、松
建築用材

木材商 𠆢野本商店
元町旭町三丁目（電話三二二番）
店主 野本清太郎

拾圓の反物も五圓で買へる

半値段　花形

慢性りん病

內服藥　五圓
大阪市南區櫻川四丁目
藥製師 淺田藥局

テンカン ヒキツケ

無代で救ゆ　切手三錢封入申込あれば病を自宅で全治する事を人助けに致し居れり
名古屋市中區南小川町　救生館

中風病全快謝告

余は元大阪府警察官なりしが數年前より中風に罹り諸藥効なく到底不治の難病と斷念せしに圖らず兵庫縣明石町古忠兵衞氏發見に係る靈劑の治療に依り全治の幸福を得たる喜び同病者の爲に謹告仕候
大阪市東區森之宮西の町　駒本茂

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

◎ミツワ規那鐵葡萄酒

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ・治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

定價 壹瓶 金壹圓七拾錢　内地以外は關税運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

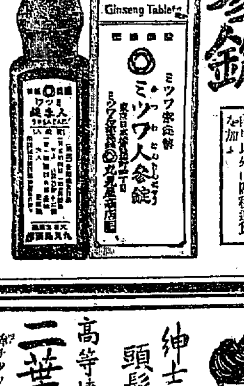
本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を持殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の疾熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

◎ミツワ人參錠

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、胃腸炎、貧血、老衰、發育不良、精力減退



定價 百錠入金壹圓 五百錠入金貳圓　内地以外は關税運賃を加ふ

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.

100 tablets ¥ .50
500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠適應諸症候

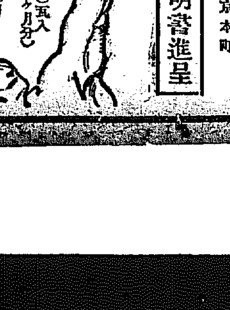
紳士の頭髮を飾る
高等煉香油
二葉ポマード

大阪久寶寺町　化粧品問屋　角倉支店

國産「フエラトーゼ」
として帝國醫科大學病院及各府縣立病院の御賞用を添ふせる

ブルトーゼを召せ
正しき補血強壯增進劑

種類
ブルトーゼ　補血強壯增進劑
アルゼンブルトーゼ　神經性疾患特効劑
ヨードブルトーゼ　黴毒性疾患特効劑
グヤコールブルトーゼ　呼吸器系疾患特効劑
キナブルトーゼ　健胃性補血強壯劑



一瓶容量二五〇瓦入（約半ヶ月分）
各地信用ある藥店にあり
說明書進呈
發賣元　大阪道修町　東京本町　藤澤商店

百藥に優る補血強壯の効果ある
人參規那鐵葡萄酒
規那鐵葡萄酒

寅帽印　TRADE MARK
到る處の藥店洋酒店にあり
發賣元　大阪　中村常治郎商店

荊妻タケ子
儀ハ遂ニ永眠致候依テ本月廿五日葬儀相營ミ申候生前ノ御厚誼ヲ謝シ謹テ御通知申上候
追テ混雜中ニ付御供物ノ儀ハ堅ク辭退仕候
大正七年拾月廿五日
吉岡薰英
親族總代
友人總代
徵兵保險株式會社
會社員一同

仁川米豆取引

商況

東京株式后電
廿四日後場
東株 一七四、九〇
同新株 一四二、六〇
滿鐵新 九八、一〇〇
鐘紡 二四〇、二〇
米拓 —
郵船 一九一、五

東京期米特電
▲前場 各地安に三十錢と二十三錢方の大下放れに寄付き跡供の好良と正米筋の投米に買方益困憊し地場歡派のトツカン賣と相俟つて圓三錢落崩れたるも止は十錢と引返したり
▲後場 前場不勢の繼先各地の暴落 二圓八十六錢と寄付きたるも跡大阪の底堅き情報と地場強氣筋の買進に地方筋正米筋の買物もありジリ〳〵三圓二十九錢と晩上げ散會引跡十三四錢の氣配なりき
二十五日前場
前寄 三十三圓二十錢 〆 六錢

兵庫期米特電
二十五日前場
寄付 三十三圓〆四錢 十一錢 十九錢

大阪株式特電
▲前場 昨後場不況の氣先東京又節狀を傳へたるも何様當月限納會の接近に對し空賣迚の手詰と建玉上の新規買も夥々あり東鐵新一圓七十錢日紡一圓三十錢安を除く外東尾大阪機工の二圓七十錢高を始め其他も概ね五六十錢高鐘紡定株は鐘紡二圓其他一圓より一圓五十錢高大株五圓九十錢大新二圓四十錢高にて形勢は益引緩の狀態にて東汽二圓七十錢日炭系尾一圓高其他も概して底鍛く主力株は鐘紡一圓四五十錢船株六七十錢より一圓高入株二圓四十錢大新一圓九十錢高に散會したり
▲後場 前場氣丈の成行を呈したる折柄引續き賣方の手詰買物あり東京も定りとの來報に相場は益引締の狀態にて〔以下判読困難〕健良に赴けるやの觀あり

二十四日前場
宇治川水 / 京阪電鐵 / 東神紡績 / 合同紡績 / 湖南紡績 / 同上新株 / 東洋製糖 / 大阪商船 / 同上新株 / 郵船株 / 同上新株 / 伏見米穀 / 東京株式 / 大阪株式 / 同上新株

大阪三品特電
二十五日前場
十月限 三九六、九〇
十一月限 …
十二月限 …
一月限 …
二月限 …
三月限 三六七、九〇

大阪期米特電
▲前場 頭上の好晴と各地安を目標に地方筋の賣物殺到し地場の投物と相俟つて三十九錢より下放れて始まり押目待の買物もありて三十六七錢に揉合ひ居る中九州地方正米の暴落を傳へ投げ軟節の追擊旺に圓六錢迄崩落し止は遂に關門割れ二圓九十八錢さ告げ不況の裡に打止めたり
▲後場 前場暴落の權先なるも各地の區々なると利喰番みに三圓丁度と手堅く始まり四八錢迄戻したるが是を好戻と見て拓物傾出し又復三圓丁度と辷りたるも大引は各地高に十錢と反撥したり
二十五日前場
寄付 三十三圓十八錢
二節 十一錢
三節 十二錢
六節 二十九錢

下關期米特電
未着

雜報

●綿糸布小戻り 大阪三品二十五日の前場は當限三百九十六圓九十錢先三百六十七圓九十錢にて **綿布は三銘先物十一圓七十九錢** と各小戻り移りの報に因りて當地布況は底堅の如きも靜穩なれば相變らず手堅き市況なり

●正米更に低落 本地場正米は過般來米筋の買見送りと附值安に漸次相場下押模様なりし處へ此一兩日來內地正米の安移り又は期米の瓦落等を傳へて市況益々軟化の狀合ひあり今朝の標準は一本種三十一圓五十錢在來種三十圓八十五錢見當にて出來品は前日より **二三十錢より物に四五十錢方の安値** にて別項市場相出以外に各地に比して割安なるものあるが前日來數の出廻り稍々減じたる爲め **眼先此上の下押は如何** あらんとの氣迷ひあり要するに今後の成行きは跡續の出廻りあるやいなやと例の關税撤廢問題の如何等によりて變化あるを免かれず

●鐵板依然軟調 鐵材は本邦市場稍々閑合ひなる上第六回製鐵所の拂下げを氣構へ氣配はザワ〳〵下押模様なるが頃日軟化の銑鐵を探鋼する時は尙製造の不引合なれば最早深しき下げは望まれ難く或は氣腐反動として一戻しあるやも測り難し尙鐵板は棒鐵安に連れ **十圓乃至二十圓方下押した** るが **煙筒用薄板** は品薄の爲め底堅く持合ひ居たり 更に八幡製鐵所の六回拂下入札の結果は二十二日同所に執行されたるが之れが成績は棒鐵中丸鐵平均價格三百十五圓角鐵百三十圓平鐵三百五十圓薄板五百七十四圓厚板定尺物八百圓不定尺物七百三十圓にして前回に比し四五分乃至物によりては一割の安値を示し從つて札元値段に達せざりし〔以下判読困難〕

●硫安は亂調 內地 硫安市況は需要全然不振なるより人氣當然不良に陷る可き筈なるも昨今荷持筋の賣扱策より仕手關係を濃厚ならしむるに至りし結果相場は亂高下を演じたるが去る十七八日頃諸和米人氣にて投物續出し現物一噸三百三十圓さ四十圓方の崩落を演ぜしも見送りより又復買物を招致して現物一噸三百六十圓と約三十圓方戻したり何分市場は買需の不振の下に依然たる有樣なれば仕手關係により先高を見るとも一般市價が著しく低落せるに因れるものにして而かも市場相場に比較するときは凡て多少の高値を示し居れるを以て見るも追て一兩來月不況を告げたる鐵材市場も昨今幾分底を入れたるものと見るを得べく今後の市場は之に刺戟せられて持直すべく觀測されつゝあり

●鮮白は不押す 鮮白は昨今賣行き不良の處へ中白の入品相當にありしより氣配軟化して今朝は上川十五圓七十錢中三十四圓七十錢下三十三圓七十錢見當を唱へられ前日より **約五十錢方相場下押した** り

●硝石 も硫安と共に現物非常なる不足なるも地場相場は依然不引合なる爲め堅調を保ち居れり 魚肥料は賣行緩慢にて不良なるも各品五十目方引締りたる爲め、前途困難なる相場は依然持合で成行きにつき現物の手堅き模様なり

●石油依然強軟 石油 過般米油の輸入相當ありしも離成期間內の供給潤當準備品にて市中賣出しに付ては依然御限な加へ英油は其後更に見るべき入荷なき爲め引續き各地方共に需給の不圓滑に苦しみ居れる模様なり市中價段は十一圓見當を唱へ建値に比し割高たるを免かれざるも此筋の取締まりによりて一時の如き氣勢なく手持筋も大に此際に氣を兼ね居れる際とて比較的相場の上げ足も抑壓しつゝあり

●東豆腐軟調 本 品は本年此處端境季にて相場の押なしと見る場合多きも本年は既に西伯利出兵の當時に於て思惑的商內盛んなりし連れ相場を釣上げ其後事實の伴はざりし反動と諦め精へによる北海道の暴落影響を受け此處例年の如き氣勢なく却つて軟調を辿り居れり

下關相場
▲朝鮮米は矢張混沌 其後白米千五百叺の輸入ありしが大抵約定物にして賣り物として出廻り僅少なるも何分形勢惡化に依り直段に拘はらず只管買入の手控へ居る爲め更に見るべき商行はれず引け申述が前價なる爲さへし立ち離き有様とて人氣混沌を極め居れり
▲大豆は手堅し 其後も龍山物八百八十叺長端物三百叺の輸入あり羽本産百二十叺の輸入ありしが割安に買進む相人現はれ尙各商地の人氣安からずして各手持筋の定くは手放さざるに依り市況手堅く龍山物四百二十叺十九圓六十錢に同二百叺許りは十九圓八十錢に新義州產二百叺は十九圓三十錢に手合行はれたり
▲小豆は先づ保合 其後北海產二十二百五十袋の入着ありしが廻着に過ぎずして荷主氣張り居るも何分不況の不勢に連れ

仁川米豆取引所仲買人
仲買店
電話二八二 長二八三番

京城正米市場
賣人は高値を唱へ居れるも買人は依然先安見越しに買控へ居れば兎角商人間の主張に索引せられ、傾きあり商內は僅かに玄米五百二十三叺最高三十二圓八十錢最低三十一圓六十錢極百九十五叺七十錢より八圓に出來せり

南大門廻穀
水原白米一七〇叺元山小米三〇叺
水原小豆二七〇叺仁川玄米一〇叺一山白米四八叺
水原大豆八二叺仁川大豆四三叺
西里 八四叺宜川小米一〇〇叺

仁川正米
▲籾の入荷如々あり
▲正米は大阪定期米の大暴落を受けて人氣安唱へなるも安値は賣廻するものなく地搊玄米三十一圓見當にて見送り狀態

生魚市場
◆京城日丸市場
日立てるもの は鯖鱈位にて一般入荷少なかりし爲め氣配も總て高模様なり
▲たい 五〇 ▲さわら 三二 ▲ひらす 二五 ▲ぶり 二二 ▲ひらめ 一八 ▲はも 一五 ▲あなご 一六 ▲あぢ 一五 ▲くろまらび 一五〇 ▲にべ 一六 ▲かしき 七〇 ▲たこ 一七 ▲か 一〇 ▲さこし 二〇 ▲あわび 五〇 ▲小たい 四五 ▲さけ 二〇 ▲小物 一五

仁川期米
二十五日前場 (強硬)
▲第一節 各地前寄未着にて當限停止 中出來不申 先二十六圓八十八錢と三錢高に寄付きたるも買物多く九十八錢と上伸せしが戻りは又賣物多く二錢と押し七錢と返し五錢
▲第二節 中出來不申先九十三引 前寄三十三圓十八錢と時止より十一錢高一節十一錢三圓十二錢東京三圓二十錢兵庫三圓〇四錢より十一錢下の關三圓四十錢の入市にて九十錢と押し三錢と返しに九十二錢と返して引
▲第三節 中出來不申先八十九錢より九十錢と跳れ八十八錢さ
▲第四節 中出來不申先九十一錢より二錢と跳れ九十錢引
▲第五節 大阪四節十六錢五節二十五錢六節二十九錢に京〇六錢兵庫十九錢下の關三十五錢の入にて中出來不申先九十八錢

唐澤正次郎
期米清算金米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七〇番 六五番

▲前場中限出來不申
一錢返し依然強硬
七圓〇
▲先限◎二十六圓八十八錢九十錢 三節四十五錢七十八錢六錢六錢五錢 四節四十五錢五錢七十六錢 ……

釜山物産市場 廿四日
▲玄米 新四五十錢安舊三四十錢安昨今は兎角不味の商狀に陷り勝ちの本品は今朝市場に於いても內地期米の安報なるに拘らず正米界に於いても內地新穀は豫想外に出廻り時期の早かりし相場も安なる爲め鮮米は不引合なるを以つて買注文入り來らず單に地方筋米筋の必需買ひあるのみにて之れ又昨今の不出廻り增加し買り物濃厚なるに至り自然安唱へなることゝて氣配は益々不況に陷り本朝は精米は四五十錢方下押し相場を示し新米八百叺古米二千二百叺內外の商內出來ざるが之れが相場は別項の通りなり
▲新大豆 十錢安 相變らず出廻り期のこと〻て賣り物は潤澤なる折柄なるに內地市況は不味にして不引合なる爲め當地相場も自然不押しを呈するに至り前後十錢方落を示し十六圓六十錢見當を以つて商內行はれつゝあるが眼先き向は安含みの商勢なり

▲朝鮮一等白米 四十五圓二十錢 四十五圓
▲同 倭館新大豆 二十一圓四十錢
▲同 新義州大豆塊 二十九圓三十錢
▲仁川大豆 十九圓八十錢
▲龍山大豆塊口 十九圓六十錢
▲同 十九圓七十錢

各地商況
◎大邱米況 二十四日
玄米無商內 一圓安正米は古米の殘存潤澤米は大いに物の出廻り返しきも近時は非常に減退されて居るが本日定期米減切安へ移して氣配益々惡化し小口賣物に續いても買方尻込みのため付値漸次に低落し昨日は一圓方り付値安一般先安見越れ濃厚を加へたる事とて新古共終日閑散內部場落ち付き待ちの風情なり

市場雜觀
▲昨後場は大前場寄付三十三圓三十九錢と四十二錢安に寄付三十三錢と押し六節四十錢と返し二圓九十八錢と暴落止め東京三圓三十錢より三十一錢跡未着兵庫三圓四十錢より三十錢跡出來不申先二十六圓五十錢と三十七錢方に寄付きたるも買物多く忽ち六十五錢と返し五十五錢と押し更に七十二錢と反撥し六十七錢と押し再度七十二錢と返し一錢と一節が迭つた二節中出來不申先七十二錢より一錢と辷りするも買物漸く多く入十錢と上伸せしが賣物漸く多く七十五錢と押し七十錢より八十五錢と上伸し精九錢と辷り八十錢より七十錢四節中出來不申先八十錢より返し七十錢の成行を示し局保合の裡に強硬の成行を示し散會したり▲市況は前場の大強戰にアの途轍買越したさ力が武筋の買に支へたるも大阪の暴落を受けて大下放れに寄付きたるか利喰に新規に賣物あり〳〵反撥步調となり東京寄付八十六錢大阪後寄二圓九十八錢との移りに存外強硬の成行を示したり斯る成行にて大阪さの暴大に縮少し六圓一二十錢さ迄なつた▲此處仕手の上に大移動を來したるとアの硬化に依り更に市場の人氣は緊り來り偽に強弱の腰入稍深甚ならんとするの形勢を示したり不知今後の動如何あるべき引跡弱電大阪後場寄三十三圓丁度より四節〇八錢と返して止め東京三十二圓十錢より二十圓九十一錢止め兵庫三十二圓九十八錢止め▲天候晴々今朝各地未着にて當限中出來不申先二十六圓八十八錢と小高く寄付きたるも前十一錢と返し圓に新規に買物多く九十八錢迄上伸せしが戻りは又賣物多く大阪〇六錢と押し目入りて八十八錢と押し入目小甘き入れ〳〵八十八錢と押し折柄大阪中寄が張したるも跡節高を受けて七圓〇二錢と上伸して散むしたり▲昨後場大阪の暴落に大下放れたるも利喰の買物多く大阪の小戻りを受けたると出来新規買物多く反撥を演じたるが大阪の買物多く大阪のぼれ返しに連れて強硬の成行を示したり前節せし如く本年作新米の先約定值段より見て定期の割安を感じ爲めなり

仁川米豆取引所
廿五日の十二月限
寄付 三十一圓八十八錢
〆 三十二圓二十錢
止 三十二圓一錢
高値 三十二圓二十錢
安値 三十一圓八十八錢
前日との比較
一節 二十六圓九十四錢
二節 二十六圓九十錢
三節 二十六圓九十錢
四節 二十六圓九十錢
五節 二十七圓一錢

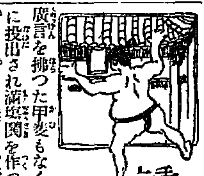
白米標準値
▲二十四日後場
二六、五〇 一三高
二六、八五 一七高
二六、八五 一七高
二六、五〇 二八高

白米小賣値
四十四圓五十錢
四十一錢
四十錢五厘

大阪の鞘大に縮少
すに至つた▲押說も大阪との鞘に付き幾何程度なりやは現下の採算なつて安當さするや必要なる問題の物件に移植し尤も必要なる問題
諸掛
二圓を三圓と見積り格下地の例廻び六十錢と見て五圓見に當り新米格上げ六十錢合計 **六圓二十錢** を以て至當とするの說なるが正米なの情勢と仕手の關係に依る伸縮するは勿論である

大阪迄の運賃

廿六番角力



毛谷村六助 四十五席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

廢言を拂つた甲斐もなく物の美事に投出され滿場閑を作つて六助を褒めて居る、又もや殿下のお傍に居りました曾呂利新左衛門、何やら短冊に認めて秀吉公に御覧に入れる、お笑ひ遊ばした關白殿下秀『勘兵衛を呼べ』直に渡邊御前へ罷り出る 勘『御召に依つて罷り出ましてございます』秀『オゝ其方の相撲面白かつたぞ、此を遣はす』お手づからお遣はしなすつた短冊押し頂いて御前を下つて參りまた 勘『皆、宜く聞け、殘念ながら我士俵慣れず、相撲を取り付けぬに依つて敗を取つたが、負けたりとは云へあれが中村家名代の勇士渡邊である、思召しに依つて殿下お手づから此を下すつた、宜く見ろ、此に付けても我を

家中で斯ういふ市兵衛が居るのにお前を選むと云ふのは御掛りが間違つて居る、是非俺が相手をする』才『宜いか駄目か、遣らんうちに分かるか、聞くと可兒はムツとして、才『宜い、突逅にするな、福島家にさるものありと云はれた、可兒才三汝に左樣な事を云はれて引込むもので無いぞ、我方勝れりと思へばこそ御掛りの選みになつたのだ、汝退つて居ろ』可兒も負けぬ氣になつて市兵衛を睨み付けた市兵衛笑つて市『ヤイ我方强いとは何處を押せば然う云ふ事が云へる、過ぐる天正十年六月十二日山城國山崎表の戰ひに彼の天王山のやりとり汝は明智の臣松田太郎左衛門光時の手に在り、光時御主君正則侯未だ市松と云うて居る頃角力の時、物の美事に

討取つたり、松田の怨みを晴らさんと覘る、中より只一騎陣太刀を振つてかけ來たりしは汝であつた、其時は其方中々强かつた、物々しや斯く云ふ市兵衛、直樣かけ附け斬結ぶ、討物業は面倒と我に組附く其力を心得たりと、投げたる太刀を取直し近寄る折柄、惜き若者一命を助け得させよと君の言葉に羈討て陣所へ引立て、解き悟し福島家へ隨身さしたは斯く云ふ市兵衛、懲るに押へられた汝を選み押へた兵を選まんのは御掛りが間違つて居る、我方勝れたとは可兒舌長なる一言である』選まれない口惜紛れに市兵衛山崎の戰ひ話を始めた、そこで 擱 なく市兵衛を飛入りとして取らせる事になりました 市『サア御許しが出た、俺も取るんだ、可兒サツサと負けて下りて來い、取るだけ無駄だから上つ

つて武藝を勵め 勘『何んだい渡邊まだ貴樣天狗を云つて居るか』勘『イヤ天狗ぢやアない、オイ團右衛門、此を見ろ』取上げて見ると諧しな事が書いてある 團『ウーム渡邊、此は結構なことが書いてある 勘『それならば團右衛門お前が皆に讀んで聞かせてやつて呉れ』團『何ッ然らば讀んで宜いか、宜し大なれば讀上げるから一同聞け、何『渡邊はかねて手取りと聞きつるが足を取られて口惜勘兵衛』直行下腹へ力を入れて出るだけの聲で怒なつた、サア皆がごつと吹き出す、流石の渡邊も堪まりかねて、こそ〳〵と何處へか姿を隱して了ひました、其次に福島正則の臣可兒才三士俵へ上がらうとする、折柄同家中の桂市兵衛 市『可兒暫待て』才『市兵衛か何で留める 市『拙者が六助の相手を仕る、お前は引込んで居ろ、到底彼に勝目は無い、取るだけ無駄だ、同じ福島の

たらば六助にお辭儀式して下りて了へ』可兒怒つた及ぶか及ばんか見てろと勢ひ込んで土俵へ上がる、行司の引く團扇諸共六助目がけて突懸る、巧者な六助其手を搦んで前へ引く、遂に可兒は西の溜へ四這になりました、入れ替はつて市兵衛土俵へ上る、身の丈五尺橫市五尺京腐と異名を取つた人、六助が見て驚いた取り惜い奴がかつて來たと思つた、これと組んで押し合ひ揉み合ひ俗に腰折れと云ふ力、負て市兵衛尻餅を搗きました、此時又々新左衛門、認めたのが『尻餅を月の桂の市兵衛が負けて餅の名をぞ搗ける』國によつて可兒才三と桂市兵衛の傳記を次席に爲渡申上げます。

安東縣近事
▲京城工業生徒 京城工業專門學校生徒二十六名は職員に引率せられ二十二日午前着列車にて安東に來り新義州及び安東を視察し一泊二十三日午前着列車に入京す
▲京都商業生徒 京都商業學校生徒五十八名は職員に引率せられ二十三日午着列車にて安東に來り市內を見學し二十四日午後歸校の途に就くべし
▲主任助役任命 安東驛貨物主任助役に任命本日着任す
▲鴨洋鴨米進水 鴨綠江造船株式會社に於て新造したる第一鴨洋丸(八十噸)は三十日の滿期時を以て進水する筈
▲安球庭球納會 二十七日滿鐵テニスコートに於て滿鐵及び實業團選手の大試合を試みる筈なるが今
▲金光教秋季祭 安東金光教會にては二十四日午後二時より教祖三十五年祭と創立五年祭を兼ね秋季大祭を執行し大連より松山教正來り說教もありたり
▲將校團歡迎送 安東在鄕軍人會將校團は二十二日午後六時より醉森憲兵分隊長の歡迎滿鐵安東醫院藥劑師林義吉氏の送別を兼ね料亭太陽樓にて盛宴を張れりと

十月二十七日 九星
舊九月廿三日 丁未
本命 八白 良納先勝
▲八白 一寸怯する事有り 新見の方は吉 ……

イケダ小兒內科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話(醫院 二三四番 自宅 二二〇〇番)

ぜんそく湯
如何に慢性で重症の喘息でも効驗は確實です昨年御服用者はお陰で今年は再發ぬと喜んで居られます喘息に本藥以上の妙藥はありません責任ある無量壽藥園の保證藥お試し下さい
第一週分一圓廿錢 第二週分二圓卅錢 送料八錢 海外卅錢
東京小石川區下富坂町二十 無量壽藥園 電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町壹丁目
株式會社 百三十銀行京城支店
電話長五八番 振替貯金京城一一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面竝朝鮮樞要の地に有

誰でも容易く色白くなる
美乳
美乳は有觸た白粉や化粧水の類とは根本成分を異にし日本に初めて出來た博士新發見の驚くべき白色劑と美容劑の化合品でありますが故に美乳を用へば皮膚の微細な氣孔を通じて其の美白成分を吸收し生地から白く美しく柔軟艶麗にする作用があります、而も白粉の白さと異つて目立たぬ白さ、落づいた美しさ、なり眞から活々とした色艷が出ますから婦人は勿論男子にも專ら大高評!
(定價 美乳 二拾五錢 純白美乳 參拾錢)
僅か一瓶で美人となる 試驗タッタ一週間!
男子も婦人も大高評
本舖 大學白粉本舖 矢野芳香園

內科 外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目(壽館前) 電話二一六番
高井醫院
院長 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 正六位勳四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彦

資本金參百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
京城府南大門通壹丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
支配人 石鎭衡
電話長六〇二番
支店 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所 釜山鍾路、東幕

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓橫(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

注意御注意出品續出品造模倣
オキシパサー
特約店
京城本町二ノ七一 酒本高明商店
定價金參拾九圓
東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話本局二六九七 振替東京二三八二一

內科 外科一般 小兒科 婦人病 皮膚科 花柳病 梅科
京城黃金町二丁目(長橋通角)
朝鮮診療病院
(入院隨意) (電話二八三七番)

よいものはヤッパリよい 中將湯にまさるクスリは斷じてありません
靈藥
血の道 子宮病
本舖 東京、大阪 津村順天堂

第五版

本紙定價　壹ケ月金七拾五錢　六ケ月前金四圓貳拾錢　壹ケ年同八圓四拾錢　郵券代用二割増
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢　別號一圓二十錢　八字詰同二割増　一同五十錢　六號七字詰一行
發行兼編輯人　奧田道之助　印刷人　小川三之助
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話編輯用六千九番　營業用六千九番　印刷用三六千九番

伊藤公を懷ふ　京城日報

一

回顧す九年前の今月今日、我が元勳伊藤博文公は、韓國を拋いて露國訪問の途次、哈爾賓驛前に於いて刺客の毒手に斃れたり。此の不意の椿事は、全世界を震動し、深く公が非命の最後を悼むと共に、韓國の運命を決定せしむる所ありたりき。爾來星移り物變り、公が常に主張したる日韓一家の理想は、併合てふ實際的の作用に依りて、一層緊密に顯現せられ、由來極東の巴爾幹と目せられたる朝鮮は、直接に澤に潤ひ、東亞の和平幸福は、全く帝國の力を以て支持せらるゝこと爲れり。聞道らく英雄末死の魂ありと、公亦莞爾として微笑を洩らすあらんか。

二

公が維新の元勳たり、憲法制定の大有功たることは何人も之を知れり。然れども公が韓國統監として如何なる苦心を費せしかに就いては、人の之を知る者甚だ少し。公の朝鮮に於ける行動は甚だ韜晦にして、殆んど人目を眩するもののあるも、而も其の韜晦の裡に、慘澹たる經營の存することは、當時に在りてすら窺知するもの稀なりき。殊に內地に於ける政論家の如き、公が朝鮮在任を以て、恰も物見遊山に耽るもの如く、遠慮會釋もなく攻擊の矢を放ちたり。遲々を知るものは遲々ならざるべからず。紛々たる俗士輩が公の胸裏を解し能はざるは當然なり。

三

之を聞く公が大命を拜するや其の家人を一堂に集め、厳かに之に告げていへらく『我輩は今度陛下の思召に因つて、韓國統監として赴任することゝ相成つた。是は恐らくは我輩が上は皇室に對し奉り、下は國民に對しての、御奉公納めであらう。韓國は人も知る陰謀の國である。我輩はかゝる國へ赴任いたす上は、何時如何なることがあらうも知れぬ。固より生命は夙に陛下に捧げてある、老軀何の惜む所もない、唯一死を以て御奉公納めをいたす心得である。此上は我輩の事に就いては誰も心配してくれるな。若し萬一の事があつた後は、誰も彼も心を一にして夫人に仕へてくれ。是が我輩の頼みぢや』と。何ぞ其の言辭の壯烈にして而も悽愴なる。果然哈爾賓の慘事は起れり、我元勳を鼠賊の手に委ねたるの遺憾は、千萬禁じ難しと雖も、公に在りては固より覺悟の前の事なり。

四

人或は公を以て死所を得たりといふ、吾人も亦さなりと點頭に躊躇せず。然れども公より之を見れば、其の素懷の御奉公納めを遂げたるのみにして、死所を得ると否とは、毫も交渉なし。公の朝鮮に在る、少しも身邊を警戒せず、吟杖優遊、或は盃を銜みて兇徒の來襲を睥睨せし如き、今猶京城人の說く所なるが、畢竟死を以て御奉公納めを爲す、不動不退轉の大決心の閃きに外ならず。吾人は此點に於て公の人格の偉なるを認め、其の政治上の功績の如き、之れを論ずるの寧ろヤボなるを知る（ヤボなる言辭を以て鄙俗なりとする勿れ、公は實に粹人たりしなり）

五

公逝いて九年、伯爵寺內請公を經、現總督長谷川伯に至り、朝鮮の統治著々として緒に就き、果九不安の虞は一掃せられ、帝國の威光益隆なり。而も去る者は日々に疎く、今や公の餘烈亦漸く湮微ならんとす。特に憾むべきは朝鮮の核心たる京城に於てすら、何等公を記念すべき遺物の存するなきこと是なり。公の十年周期は今一年の後に在り、吾人帝國民として、此の偉なる人物にして、最初の統監たる公を傳ふべき、何等かの施設なかるべからず。特に今日に於て之を全國の有志に圖る。

今後の墺太利と土耳其

墺國講和提議に對する米國大統領の拒絶通告公文は二十一日朝其筋に入電あり大統領が拒絶の理由として新事態の發生はチエツク、スラヴ族及びユーゴウ、スラヴ族の自由獨立承認に依りて概括的に說明を附せられたり而も大統領の教書に開示せる十四箇條及び當時の演說に現はれたる其他の講和條件全部が新事態の發生せる今日に於て講和の基礎的條件たり得べき可能性を有するものに非ざるはウイルソン氏が此機會に始めて斷定したる事に非ず

▽墺の國家的組織が未だ根抵を有するに至らざる今日殊に墺國の戰鬪行爲が獨逸と全然分離せるものと認むる能はざる關係に於て獨逸との協議の下に行はれたる墺國の提議が一層手嚴しき拒絶に遇ふは寧ろ當然にして獨墺が如何に之を固執せんとするも結局何等の効果を齎さゞる可きは自明の理由而して墺國が飽迄平和要求の希望を繋がんとせば獨逸の決定に追隨すべき一切の關係を斷ち別に單獨なる自發的新形態の形成に依りて自己の運命を解決せざる可らず然るに墺國皇帝が既に獨逸系墺地利族、南スラヴ族、チエツク族、ウクライナ族の四國より成る聯邦組織の布告を發したるは米國大統領の促せる墺國民自身の講和に對する責務と全く背馳せる事態にして墺國皇帝及び其の政府が自家の權勢を保持せんとするに焦心の餘り大勢の歸趨する所を無視するに至れるものならんも而も其實際は

▽民族分裂論者 の勢力遙に聯邦主張者を壓せる模樣あり且チエツク族及ユーゴウ、スラブ族は聯合保障の下に自由獨立を希望し居りて聯邦組織の布告に服せざるは疑ひなく小諸族も亦波蘭に於けるが如く獨逸とは明かに見解を異にせるものあれば聯邦組織の計畫が結局不成功に終る可きは論を俟たず然れども若し小國分立の弊を馴致するに到らば獨逸は當然獨逸系墺太利族を自國聯邦の一に加へ墺國は茲に全く亡滅の悲運を招來する事となる可きが墺太利の版圖を地球の表面より全然抹殺し去るは聯合國に取て戰後の對獨關係上決して有利とすべき者に非ず同國々情の變化は此際頗る重視するの要あり又米國大統領は十四日援手せる土耳其の提議に對しては未だ回答を發するに到らざるも

▽土耳其に勃發 したる革命運動が講和を促進する爲めの非常手段たる以外別に青年土耳其黨多年の權勢跋扈に對する國民的反感に基づけるものなるは想像するに難からず唯其中心が果して如何なる處に在るやは詳報を俟たざれば明かならざるが土耳古黨にも幾多の異分子あり曩にチュウフイツク、パシヤ內閣の成立後間もなくイゼット、パシヤ之に代り政變頻々として傳へられつゝありイゼット、パシヤは前首相よりも一層獨的色彩濃厚にして開戰當時內閣に列せるも獨逸勢力の侵入漸く甚だしきを憤り遂に辭職したる人にて軍閥の巨頭エンヴエル、パシヤとは氷炭相容れざる所より緊張するに現首相が革命の中心と全く關係なしとは云可らず獨逸皇帝エンヴエルの駐獨武官たりし頃之を

▽自家藥籠中 のものとなし彼をして土耳古に於ける軍閥の勢力を支持するに到らしめたるものにて若新政府がエンヴエルを中心とする土耳古一派の勢力を沒する爲めに革命運動を善用するを得ば土耳古黨は往年革命を以て政府を覆へしたると同一の運命に逢着すべく此間英國が同國軍閥の勢力排斥に關し極めて秘密裡に或種の援助を試み來れるは慥なる事實なれば此關係より推斷するも土耳古の講和要求が革命の一段落を俟つて伊太利と等しく獨墺とは全然關係なき狀態の下に其目的を達成せらる可きは略察知し得べし

邂逅　三十一
財布の主　一
佐々木紫雪

蔦のやと記した軒燈に、小止みになつた秋の雨が徐に注いで、內裡には客の喧しい酒呼ぶ聲が頻りとする。

『おい若い衆、乃公疾うから注文して置いたんぢや無いか、どうしたんだい、早う賴む』

川の流れに面した座敷の眞中に大聲に酒を呼び肴を求める男があつた。

年頃は六十二三、額の廣い眼の窪んだ、頰骨の高い顎の突き出た男であつた。

『今夜は乃公が手前達に、弱れる迄侈つてやらう、遠慮し無いで充分飲んで食つて、踊つて〳〵踊り拔かうぢや無いかい』六十二三の男は淫んだ目に溢れる程の笑を見せた。

『いやそいつア有難い』と額の生へ上がつた男が『時に惣兵衛さん今夜は斯うして侈つてやらうとか云つて、見た所いづれも負けず劣らずの飲助四人、一體全體どうして侈れる程儲けたんぢやな』と覗き込んで云つた。

『は・・・・、なにも儲う不審がら無いでも、今夜の所は面白可笑しう飲んで食つて踊つたら好いんだ』

『儲う云やさうだけれど、その心が落付か無いや、なアをい』と殘りの三人に云ふと、三人は等しく頷いた。

『おい〳〵落付か無いたアどう落付か無いと云ふんだい』

『さ、それが其斯うして侈る〳〵と乃公を引つ張り込んで、いつもの手で侈らすのぢや無いか』

『馬鹿吐け。乃公が侈ると云つたら侈つてやるんだい、憚りながら乃公共に五人ぢや無いか、高が五人だ、二兩づゝ侈つても二五の十兩、二十兩費はうと思や大概は踊れらア』

『仰山な事云ふぢやァ無いか、分相應つて云ふ事があらア、一合二合の茶碗酒呑みが、一人前二兩の三兩のつて云ふ事が仰山すぎらアなアをい』と三人を又も見る。

『さう〳〵』三人は相槌を打つた

『おい〳〵』と惣兵衛は右手を大きく急しく振つて『仰山々々と云つてるが、安心するやうにお目に掛けさしてやらうか、吃驚するなと云ひながら振つて居た右手を懷へ突つ込むと、やがて其手に立派な蟇口が握られて居た。

『おや〳〵』と一同は目を圓くして『立派なもんだなア』と呆れ返つて、只目をぱちつかせるばかりであつた。

『どうだ、內見て驚くな』惣兵衛は自慢顏して倚も手を突込んでゐたが、暫くするとばらりと其處へ手の切れるやうな十圓紙幣が二枚落ちた。

『こ、こ、こりやどうぢや』と一同は思はず後退りして目を剝いた。

『はゝゝ、驚いたか』

『こりや驚いた、そりや一體本物かい』

『見て云へ、見て』

『うむ』と一同唸るやうに云つて尚ち眞偽を疑ふやうに沈と覗き込んだ。

『どうだ持つて居る時は持つてお在でになるだらう』と惣兵衛は得意氣に頻笑む。

『うむ』感心したやうに頷いて『それなら安心なもんだ、なあをい、遠慮なしに御馳走にならうぜ』

四人は俄に明るうなつて、ぽん〳〵と手を鳴らして催促する。

『どうもお待ち遠う樣』女共は其處へ註文の品をずらりと並べた。

『今夜は勘定は氣遣ふにや當ら無いよ、これ姐さん見無い』と額の生へ上がつた其中の一人は云つて落したなりにしてある紙幣を指した。

『まァ澤山……』と女共も呆れた。

『はゝゝ』と獨り惣兵衛は大きく笑つて『さ、みんな呑むぢやい、堅い事は嫌い、遠慮は嫌い、さ充分やつてくれ』

『忝け無い、ぢや頂戴するぜ』

一座は高い酒の香りに取り圍まれた。

題酒樓壁　安永春雨
不騎驢又不乘船。獨坐高樓別有天。鱠膾菜根歸掌裡。清風朗月到樽前。青蓮一斗仙才逸。蘇子三蕉醉墨傳。我亦聊知酒中趣。陶然揮筆寫新篇。
學鷗曰　句句不離酒、妙想非凡。

答人問郷里　安東楽雲
山似芙蓉海繡嵩。稻粱豐熟百川流。由來我住頗田地。又有靈泉冠九州。
學鷗曰　可入于宣園百家詩中

秋郊散策　鱗生芙蓉
孤策東門外。蒼涼日已傾。江流楓葉散。野逕菊花橫。舟去波無跡。雁來雲有聲。眼前秋一幅。身似畫中行。
學鷗曰　幽致勝于畫

醫界之革命　振古未有世界文明の一新紀元宇宙人生の解決　生命精神及自然癒能力の實質及自在作用の闡明
自然癒能力　通信講授
▼人爲的自在作用　▼瞬間實現即功現　▼作用體得一周間
試に郵券六錢を投して內容見本を請求せよ日出既に三年昔垂線を失して世界文化の潮夢に後るゝ勿れ甲はまた夜深し富士の朝ぼらけ
□東京麻布本村町百四十六番地　私立專門學校　リズム學院　振替東京四三〇八二番

弊堂創立明治二十八年
各時計卸商　蓄音器　貴金屬製作卸所
京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電一〇一五。振替京城七八二

千家　茶道講義錄
會長[illegible]　主任　千家正流　田中仙樵
會期十ケ月修了
秘傳開放　質問自在　上達保證
本會は創立後滿廿年の經驗ある日本唯一の講義錄也第十號完結
見本無代進呈　東京市本鄕區[illegible]町拾三番地　大日本茶道學會本部

カーバイド
並に各種ランプ及附屬品
田中カーバイド　鮮滿總代理店
京城南米倉町十七番地　山陽商會　電二二九一　振替京城三[illegible]番

糸左近先生著　各卷紙數三百頁
生理と病理　全八卷
本書は醫學生中等教員其他一般の參考及び素人に醫學知識を與ふる爲めに著されたるもの
第一卷　皮膚の卷
第二卷　五管の卷
第三卷　筋骨の卷
第四卷　消化器の卷
第五卷　泌尿生殖器の卷
最新刊　第六卷　循環器の卷
第七卷呼吸器の卷近日發賣　第八卷神經系の卷編纂中
東京神田今川小路　金刺書店　振替東京八四二四

銘酒　大和心　冷卸

發賣元　京城本町二丁目（電話二九、一四八番）　佐藤牧商店

合資會社　福喜洋行京城出張所新設廣告　F.K

營業科目
染料、顏料、工業藥品
各種綿糸、綿織布類

京城府岡崎町五番地
合資會社　福喜洋行京城出張所
所長　高田愛吉
電話長三〇二〇番　四九一番
振替口座京城八一九番

右ノ通リ來ル十一月壹日ヨリ營業開始可仕候間宜敷御引立ノ程奉願上候

本店
大阪市東區瓦町一丁目一番地
合資會社　福喜洋行
代表社員　小西喜代松
電話長本局　五四〇番　七四〇番　一七六〇番

高野川捺染工場　京都市上京區高野大開町　電話長上二二三六番
第一化學工業所　大阪市外豊崎町　電話長北六一〇番
第二化學工業所　尾ノ道市西御所町　電話長五八番

◇米對獨回答

ウイルソン大統領は駐米瑞西代理公使の手を經て二十日附獨逸より接受せる通牒に對し國務卿を通じ回答を發せり其の要旨次ぎの如し（華盛頓電報）

獨逸がウイルソン大統領より前回發せられたる米國覺書中に提示されたる條件を受諾し海上及び陸上に於ける文明戰爭の人道的常軌を遵守す可き事を明白に約束したるに鑑み大統領は米政府が連盟せる各國政府と共に休戰問題を協議する事を謝絶する事能はずと感ず但し大統領が審議の爲聯合國政府へ交付するを正當とする唯一の休戰條件は米國聯合國が獨逸をして敵對行爲を爲し又は更に新に敵對行爲を爲す能はざる協定を爲し得るものたる可きを茲に再び聲明するを以て大統領の義務なりと思惟す大統領は現獨逸當局との交渉を其聯合國政府へ提出するに當り各聯合國政府にして如上の條件原則に據り講和を締結するの意あるに於ては各聯合國米國は當該軍事顧問に對し若し軍事顧問にして其軍事上の見地より休戰を可とすと斷定する場合は其必要と思惟する休戰條件を提出せしめん事を訓令す可き旨を提議せり

◇獨逸憲法改正案

獨逸の對米回答中に曰く獨逸皇帝は今後組織さる可き如何なる獨逸政府に對しても宣戰布告の權限を分與し且つ如何なる政府と雖も必ず帝國議會に於ける多數の信任を保有せざる可からざる事を明瞭に宣言し更に斯くして最初に組織されたる內閣は宣戰又は平和を決定するに當り國民代表者の之れに對する承認を必要とする獨逸帝國憲法を改正する法律案を帝國議會に提出したりと（桑港電報）

◇グ卿對獨演說

前外相グレー卿は十日ウエストミンスターのセントラルホールにて國際同盟に關して演說を試みたるが之れ卿が二年以前外務省を去りし以來初めての公式演說にして朝野の名士席に溢れたり卿は獨逸を國際同盟に加入せしむるには先づ獨逸の軍閥主義が全然國民の腦裡より除去されたる事及び其政府は復活せる眞正の國民を代表せる事を十分納得せしむるに足る立證を要すと說けり（倫敦電報）

◇米海軍製艦計畫

米國海軍當局者は議會に對し第二次補給製艦計畫として更に超弩級艦十隻戰鬪巡洋艦六隻小型艦艇百四十隻の建造費六億弗の支出を要求せり（華盛頓外電）

◇ブラッセル アントワープ休日氣分

和蘭來電＝白耳義より和蘭に到着せし旅客は語りて曰くブラッセル及びアントワープは休日氣分滿ち或場所に於ては白耳義國旗の揭げられたるを目擊せりと（倫敦電報）

◇希勃協約效果

アゼンス來電＝希臘總司令官ダングリス將軍は今回希臘勃牙利間に調印されし軍事協約に就き十分滿足の意を表せり將軍は此協約の結果希勃兩軍が塞爾比國境に於て獨墺軍に對し共同策戰に出づ可き事ある可しと思惟せり（倫敦電報）

◇土國新內閣色彩

土耳其新內閣は青年土耳其黨の勢力を一掃せるに非ずして寧ろ一種の妥協を意味せるは合同進步黨の前幹事ゼッセベイ及び親獨藏相ドヤイツドベイを入閣せしめたるに徵して明かなり（紐育電報）

●●●佛國中將來朝●●●

西伯利のチエック、スラブアック軍司令官たる可き佛國陸軍中將ジヤナン氏は廿四日入港西伯利丸にて來朝帝國ホテルに入れり（東京特電）

◇吉林督軍等北滿視察

吉林督軍及び電報局所長は北滿各地支那軍隊駐屯地にて電話未設備の箇所を實地調査の爲め部下六名を伴ひ廿三日夜北行せり（奉天特電）

◎南北妥協促進 ウ博士の調停策

（北京特電）祺瑞氏の辭職は兎に角にも南北妥協の氣運を促進し京津の間政客の來往織るが如く而して徐總統は大勢の赴くところ妥協の外なきを知り國務總理と對時局策を講じ主戰派の段派とも

▲意志の疏通 を圖り一策の宣言をなさしむる筈なるが打つて一丸となし國務總理をして其の內容は勿論具體的に非ざるも各前敵將士に休戰の命令を發し妥協の準備に取りかゝらんとしつゝあるは明かなる事實なり南方軍政府側に於ても伍廷芳、岑春煊、陸榮廷、譚浩明其の他軍人も妥協に應ずべき下心あれば最早主戰方針は一擲せられて主和方向に邁進しつゝある形勢なり然らば妥協の形式は如何『約法恢復』にあるは勿論なるも之れを實際に徵すれば頗る困難なる問題なり北方政府が如何程讓步するも『約法恢復』まで讓步せざる間は南方の同意を得ること能はざるべし最近ッ那政治顧問のウエルビー博士が南北妥協意見書を徐總統に提出したるが此等は

▲南北に對し 比較的公平なる條件なれば或はウ博士の意見が中心となりて妥協會議開かるやも知れぬ此意見大要は左の如し

（一）國會問題 北京新國會議員と廣東舊國會議員との中より同數の議員を上海に派し臨時聯合議會を組織して新憲法を制定し而して北京に正式の國會を召集すること

（二）副總統問題 副總統は西南各省より選擧し上海の臨時國會は徐總統を承認すると共に同時に副總統をも承認すること

（三）軍隊整理問題 南北兩軍は現在の戰線より原駐地に引揚ぐること

四、以上の各項は南北調停に可能性を有す米國政府は努めて援助すること

ウ博士の意見書は徐總統のみならず錢總理梁士詒氏其の他朝野名士に配布され又一方

▲南方の巨頭 にも通電せりと傳へらる孫文氏等は米國の調停運動は日本の調停運動に對抗せんとするなりとの觀察を下し內心不賛成の不可なるを論じ居る張繼會氏等一派は表面米國の調停を希望し裏面に於て日本が斡旋せんことを希望し居れり斯くの如く妥協問題は外人側と支那側と入亂れて促進運動を開始したるが目下の狀勢より見れば妥協の中心人物は岑春煊、張繼會、谷鍾秀、孫洪伊、王寵惠氏等の政學會にして時局の中心は一時上海に集中せらるべし米國が此間に介在して如何なる活動を繼續すべきかは注目に價す（北京）

◎西鮮事業界活躍
物價騰貴と農民勞働賃金增加
小原農商工部長官談

西鮮方面視察中なりし小原農商工部長官は二十五日午後五時二十分南大門驛着列車にて歸任したるが今回は仁川を振出しとして永同に於ける綿作十周年記念品評會に臨み沿線各地を視察一旦京城に歸任の上更に平北を經て沿道に於ける鐵山を視察し平壤から途中价川の鐵山を視察し平壤、鎭南浦海州城と隨分視て步いた範圍は廣かつたが玄關口を覗いて來たに過ぎぬので何等お話する丈けの材料を持たぬが只今度步いて物價騰貴が

▲一般農商工 に從事する者に如何なる影響を與へてゐるかに就て親しく觀る事が出來た我々は物價騰貴に伴なふ生活難の聲の激しい都會地に生活してゐるが足一步地方に踏み出して見ると一部の俸給生活者を除けば所謂景氣のよい懷工合の暖かな有樣は豫て期してゐた事乍ら事實に違はぬ事を認めた米は云はずもがな麥小麥大豆其他何の穀物に依らず價格は騰貴して來て遂に農民の經濟狀態は驚くべき良好な狀態となり▲農家副業生產品の騰貴は農民に副業熱を昂めて副業に依る收入も勘からぬ額に上つて居る斯な之等の收入が如何な[illegible]らる、かに就て[illegible]要か[illegible]なるかな其結果も[illegible]意[illegible]を排ふ必[illegible]子させらる、中農階級を附加せしめたと云ふ喜ばしい

[illegible]地を購入し小作農から自作農へと轉換しつゝある尤も小作人がよいばかりで無く地主も穀物騰貴に依る利益に均霑して居るには違ひないのに地主が貧乏して土地を賣る譯では無いが土地の賣買の仲介業者が排に大地主に纏つた土地の賣却を勸誘し仲買者は之を分割して賣ると云ふ方法が行はれてゐる、之れを見ても物價騰貴に基因する社會問題は都會地で叫ばれる程悲觀すべきものでは決して無いと思ふ各地共煙突の數の增した事も朝鮮の經濟界が近時

▲非常な活躍 を示して來た事を語るものであらうと同時に人口も著るしく增加し平壤の如きは戰前大正三年に比すれば三年間に約四割を增加し各事業會社の資本金は同じ三年間に六百萬圓から千八百萬圓に增加して平壤は申す迄もなく大田なども立派な市街地として面目を整へて來た事業界の活躍と共に勞働者の賃率增加も激しく朝鮮人人夫八十錢まで上つてゐる其の上まだ勞働者の爭奪戰も隨分激しいやうであるが只遺憾に思ふのは之等勞働者は賃金は增加しても働く能率に於ては鳥渡も向上せず寧ろ內地の例に見ても低下の氣味がある事である勞働者問題と云へば新義州の營林廠に行つた際も吉野川木曾川沿岸から出て來る役夫が對岸の

▲採木公司が 支那役のみであつたものを日本役を採用する事になつてから漸次其方に引付けられ又新義州の製紙會社が代木事業を始めたので其方面にも吸收せられ頗る困難を感じてゐる植林の稼を加へた事は今回の旅行中殊に目に立つて見えた一事であるが地方に依つて多少の遲速はあるにせよ著しく山林保護の觀念が進んで成育の思想が朝鮮人間に旺になつた事は植林業者の增加にても肯かれる事で木を育て、立派な利益の上げられる事が了解されての行き屆いた結果でもあらうが盜伐は非常に減少して居る事も事實である平安北道の如きは栗樹の栽培が盛んで二十年後には之れに賴る果實から優に一千萬圓の利益を擧げると意氣込んでゐる栗も本年は米國にも紹介され所謂平壤栗として好評を博してゐる事であるから將來朝鮮の輸出品として決して見逃したものでは無い

◎今後は支那
東亞煙草の進出
佐々木社長談

入京中の佐々木東亞煙草社長は曰く今回の旅行は朝鮮滿洲經由支那各地を歷巡するのが目的です恰度天津に建築してゐた本社の工場が殆ど落成に近づいたのでその竣工式にも列する考へである朝鮮も明年ならずして煙草專賣制を實施する事と思ふが今後會社の活動範圍は之れを支那方面に求め主力を注いで外煙との角逐に努力せなければならぬ、又その方針で諸種の準備を進めてゐる、天津工場の建設の如き素よりその一つであり前年希臘人より買收した上海工場も此行ハルピンにも出張たいのである遠からず擴大せねばなるまい、又北滿西伯利方面には既に分社製品の進出は少くないけれど將來一層努力したいと思ふ

◎鎭南浦築港 利用周知

鎭南浦築港の利用狀況に就き其の筋の調査に依れば本年同港解氷以來九月までの間に於ける入港船舶中船渠に入渠し得る汽船にして入渠したる汽船の數は其の

▲九割四分 に當れるがこれを築港開設以來每年同期間と對照せば左の如し

年次	入渠し得る隻數	入渠したる隻數
大正五年九月迄	八二	一八
六年九月迄	六五	二〇
七年九月迄	五三	五〇

にして本年に於て著しく增加せるを見る右は同閘船渠は潮流の關係に依り船舶の出入容易ならざるやも知れずとの誤解せられ爲めに入渠を躊躇するものありしが入渠船舶の何等支障なき實見漸く周知せられたるに潮を待たざるべからざるのみならず風波の際は殆ど荷役不能なるに比し船渠内は潮の干滿風波如何に拘らず安全に荷役を爲し著しく時間と勞力とを節約し

▲陸上設備 を利用し得るに因つて費用も輕減し貨物の損傷も少く有利なる點頗る多きこと漸次當業者の知る處となり且其近く港に於ける船舶の擁底をつけ一層沖荷役の不便を感じたる爲め入渠によらるる船舶にして入渠せざるもの殆どなきに至れり斯の如く同築港は將來一層利用を增進するに至るべく仁川の築港も是等の實績に鑑み其の何等の支障もなく漸次開始せらるべきを了解すると共に利用增加を見るに至るべし

◎高島中將統裁

第十九師團長高島中將は二十六日午前十一時龍山發水原に向ひ二十七日より二十九日迄同地附近に於て第三十九及び第四十旅團の師團對抗演習を統裁し三十日の假設敵演習を統帥すべし

◇獨逸は結局無條件降服に於て終を告げむ
獨逸回答に對する米紙の論調

獨逸の回答に對する紐育新聞の論調左の如し（育紐電報）

▲紐育タイムス曰く 獨逸は未だ吾人の講和に關する諒解するに至らざるなり獨逸は未だ獨逸の今日の地位と聯合國の地位との間に存する多大なる溝渠を測らざりしなり今日に於て吾人の言ひ得るは獨逸は今や其途上にあり而して結局無條件降服の點に於て終りを告ぐるの已むを得ざるの日ある可き事也

▲紐育ヘラルド曰く 米國人民の要求する處は獨逸軍隊の無條件降服を見る迄は休戰交涉も講和交涉も之を開かざる可しと謂ふにあり

▲トリユビン曰く 今回の回答は獨逸人民より來り虛僞を事とせるホーヘンツオールレン政府より來らざる事は之れを認む可しとするも獨逸人民も亦罪あり彼等は降服を提議せず且つルシタ號を擊沈せし人を罰する事を敢てせずして單に休戰を提議し問題を回避して其祖國を救はんとしつゝある也

◎米絹物制限事情

（華盛頓）米國政府が同國內絹物生産額に對し一大制限を斷行するの狀は[illegible]じ絹物に對しては十二月一日より向ふ六箇月間既往三ヶ年の平均生産額の[illegible]生産額の四分の[illegible]可するものなり[illegible]しの理由を聞くに[illegible]勵の爲めにして即ち國內に於ける比較的重要ならざる諸工業を制限し以て之等に從事する人員を擧げ[illegible]點なるべきが最近歐露に於ける聯合軍の勢力は兎角に

▲兵力至少 にして動もすれば際し露國方面の形勢なるは講和條件中の露西亞問題解決に一大支障を感ずるは必然の事と云ふべく若し同方面に對する增兵をなさんとする事最も必要なることなれば米國は疾くも此點に著眼し[illegible]するもの[illegible]產高の制限が我が生絲界に及ぼす影響に至りては誠に至大の[illegible]

◎平壤聯隊著龍

平壤步兵第七十七聯隊附將校三十六名及び下士以下五百八名は廿五日午後五時龍山着一泊多分廿六日直ちに演習地に出發す可しと

◎團理事長張宴

團氏は二十五日午後六時より朝鮮ホテルに京龍官民有力者多數を招待張宴せりデザートコースに入るや團氏は起つて挨拶をなし簡單に朝鮮所感を述べ右に對し高島第十九師團長の來賓代表謝辭あり宴席の前後に京城藝妓の餘興あり九時すぎ散會せしが來賓の主なる向きは高島兒島兩中將宇佐美松永鈴木各長官齋藤鮮銀總裁三島殖銀頭取久保京管局長其他約百名なりき

◎濟南鮮銀開店

朝鮮銀行の濟南支店は二十五日より開業したる尙は支店長には杉之原孝喜氏同日附命ぜられたり

◎鑛業登錄（自十月十二日至同十六日）

[illegible]

◎慶南棉業好績

（慶尙南道）慶南道に於ける棉業の成績は頗る良好にして作付反別の如き逐年著しく增加の勢を以て擴大し收穫高も亦從つて激增を告げつゝあり今大正元年以降前年度迄の統計に依り棉作發達の狀況を考察するに其累進的趨勢殊の外甚だしく元年より三年度に至る三箇年間は年每に三倍乃至五倍の激增を示し三年度以後に於ても尙二倍の增加を呈し居れり即ち左の如し

年次	作付反別（町反）	收穫高（斤）
大正元年	[illegible]	[illegible]
同 二年	[illegible]	[illegible]
同 三年	[illegible]	[illegible]
同 四年	[illegible]	[illegible]
同 五年	[illegible]	[illegible]
同 六年	[illegible]	[illegible]

而して本年度に於ける豫想は作付反別二萬三千反此收穫高九百九十萬斤にして前年度に比し作付反別に於て六千四百町步を增大し收穫高に於ては二百八十八萬餘斤を增加する見込なりと

◎兒島總長視察

兒島總長は廿六日午後九時四十分南大門驛發列車にて新義州に赴き鴨綠江橋梁及び新義州等を巡視し廿七日同地一泊廿八日歸任の筈

大町桂月

金剛山探勝中なりし著述家大町桂月氏は廿五日夜歸京朝鮮ホテルへ投宿せり

人事消息

▲小田田淵氏（江原道警務部長）廿五日朝入京巴城館へ
▲松村良太郎氏（新義州木材會社支配人）廿五日歸京
▲宮崎作太郎氏（群山實業家）同上
▲龍山中學生一年生百三十名は京城地方へ二年生四十名は開城地方へ修學旅行の豫定にて十一月一日出發歸校すべし

◇鳥瞰

海軍には戰後に設けた臨時調查部なるものがあつて頭腦優秀の將校が其委員となり有らゆる調查をして居る▲調查の結果は部外秘として外聞には發表されないが頗る綿密なもので例へば航空機の事でも其起源から發達から戰時の應用から各國に就ての年次を逐うて詳しいとは驚く許りである▲調查部長には[illegible]竹下勇、山本信次郎氏次は山本英輔氏と何れも大佐級の錚々たるものであるが此調查部會で今度は疾くから講和問題の資料となる一切のことを研究して居た▲其仕事には數少佐が專ら其れに從事して居たがドウも机上の調查丈けでは面白く無い交戰國へ行つて充分研究せなくてはならぬと頻りに海軍に請うて一生懸命に勉强して居たいと云ふ處があつた▲こちらでは數が歸つて來るのを非常に待つて居ると云ふ譯で、少佐も共に雲霞の漏れるまた海軍部內殊に調查部の失望は非常なものだらうだ▲ロシヤ文壇の現狀は政界の容子が混沌として居る如く何が何だか判らないが▲アンドレーフ、ローブシン、ゴーリキイなんど云ふ多數の知名文士は何れも、激派に憎み盡し隱遁して居るやうである中でも『決鬪』で賣り出したクープリンは先頃迄ペトログラードに監禁されて居るかその同類中のココウツオフ前首相が最近死刑に遇つたとの電報が來た位だから彼の生命も或は危いかも知れぬ▲かう云ふ調子だから若し文士の中に過激派の肩でも持つ者があればソレこそ仲間からウンと脂を絞られるものと見え▲先頃などセラヒモーヰチと云ふ可成り有名な文士のごときはブーニン其他の一味徒黨から冷汗の出るほど脂倒された揚句仲間の或會から除名されたさうだ

仁川期米

▲二十五日後場 大阪前止め三十三圓三十錢の入電にて先限二十七圓十錢と八錢高に寄付[illegible]
▲後場中限出來不申 先限一節二十七圓十錢[illegible]

二十五日の十二月限

寄付	二十七圓十錢
止め	二十七圓九十八錢
高値	二十七圓十二錢
安値	二十六圓九十六錢

大阪屋號書店 ◎店員募集 年齡二十歲以下 希望者來談あれ 京城本町

議政府 飲食店、市場店舖 好適三十坪乃至五十坪 希望者は來る三十日前十時より現地に就て各筆每に競賣 黃金町一ノ六二 產興商會

貳百九番 他に讓渡 十一月一日より新聞部本店二〇七五番 在來の二一六番移轉 京城本町二町目 田商店

小使事務見習員募集 京城黃金町二丁目 共保生命保險京城出張所

◉社員募集 男女 廿五歲以上 但し一定の給料支給す シンガーミシン會社 黃金町

貸屋向き貸家 新築中 黃金町 京城本町二丁目

毛皮なめし仕立 京城本町二 電話二〇六五番

鍼灸術 姓名在社

倉入募集 齋藤酒造會社

代診生一名至急入用 龍山元町 幾野病院

京日案內

寫眞 京日寫眞製版部

京城管理局

物品賣却 一取消

購買 一遞信局

警務總監部

拂下入札

公告 金化出張所

諸病 時代に伴ふ新療法 ハダナ術 ハダナ術研究所

淫羊藿エキス 一手販賣 京城日報社代理部 京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから 御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城贊化堂

常に頭の惱める人 頭痛する人、便秘する人 確効ある腦神經病特効藥 島村博士の健腦丸 服用あれ 本舖 丹平商會藥房

株式會社 朝鮮商業銀行 資本金 壹百萬圓 諸積立金 參拾貳萬五千圓 京城南大門通一丁目 一般銀行業 倉庫業 銀行長 趙鎭泰 支配人 豐田明敬 南大門支店 本町支店 仁川支店 平澤支店 群山支店 利川支店 東大門支店

大々好評 ◉演說に志す人見よ 最良雜誌出づ 月刊雜誌 雄辯研究

[illegible]國戰時產業局の必要上同國內に於ける比較的重要ならざる一切の諸工業に對し生產額の一大制限を命じ[illegible]限を四分の一までに減縮するが如く傳ふるも右は誤聞にして事實は四分の一方減縮するものにて即ち[illegible]を示さんとする一種の一大示威運[illegible]後數ケ月[illegible]增派し以て講和に對する一大[illegible]るにありと而して米國政府の果し[illegible]て大兵を歐洲に[illegible]て何れの地點に增兵を試みんとす[illegible]るか固より西部戰場は其の主なる[illegible]面に於ける聯合軍の實力ある援助に俟つにあらざれば到底其活動[illegible]東なき狀態にあり殊に講和接近に[illegible]げ獨逸の主張に一歩を讓るの已む[illegible]なきに至るなきを保せず即ち聯合[illegible]國として此際露國方面を堅め置く[illegible]れば甚し米國政府は今回の[illegible]莚の少くとも一半は▲之を露國方面に割かん[illegible]八千萬圓と見るべく[illegible]由々しき大問題なりとせ[illegible]

◇家路

◎巨星殞ちて九周年 ―あはれ伊藤公―

思ひ出多き二十六日 原內閣成立の報告祭

『萬里平原南滿洲、風光濶遠一天秋、當年戰跡留餘憤、更使行人牽暗愁』の一絕を名殘に、維新の功臣にして近代の偉人なる伊藤博文公は明治四十二年十月廿六日朔風吹き荒ぶ哈爾賓原頭の露と消えた、公薨去して既に九年公が多大の努力を以て創り上げた政友會は、第三代の總裁原敬氏に依りて立派に

◇繼承 され、其原總裁は今回出で、國政燮理の大任に當ることゝなつた、廿六日は恰も公の九週年に相當するを以て、原首相以下各大臣は打揃つて大森谷垂なる故公の堂域に參拜し、內閣成立の奉告祭を行ふべく、公爵家にても同日谷垂の本邸に於て例祭を行ふと云ふ、右に就き多年公に親炙した代議士古谷久綱氏は、山縣公より贈られた『かたりあひ謐し人は先だちて今より後の世をいかにせん』なる

◇國風 を手にしつゝ、黯然として語る『私は明治三十三年歐羅巴から歸朝してから間もなく公に識られ、公が帝室制度調査局の總裁となられた際、御用係として採用された、公爵は此年の春から政友の創設に力を盡し、九月には辭職して愈政友會を創立し其總裁となられたので私も同會に入つて總裁秘書となつた、政友會が出來ると間もなく、山縣內閣は辭職し公は政友會を率ゐて內閣を組織されたので私は其秘書官となつた、公は夫から樞府議長

◇統監 こ歷任し明治四十二年十月二十六日哈爾賓で亡くなられたが公が一身を捨、帝室の爲め國家の爲め奉公されたことは云ふ丈け野暮である、公は常に斯う言つて居た、世の中のことは總て相手があるのだから、自分一人許り都合の好い事をしてはならぬ他人の事も考へる必要がある、況んや國家に於ては猶更である、吾々は死生を賭して開國の事に努力したが、陛下の

◇稜威 こ國民の努力こに依つて今日の如く國が進んで來たが此れから先が大切である、發展すればする程他國の嫉妬は招ぎ易いから、十分注意を拂ひ、單り日本許り都合の好いことを考へず對手國も、第三國も首肯するやうに仕向けなければならぬ、東洋の問題に於て特に其の必要を認むる但し至當なる權利は無論收むべきも強て特種なる行動を執る事は感服せぬこ說かれたが、其後種々なる問題に逢著する每に其の至言なることが感ぜられる

◇朝鮮 に對する政策を見ても公の主張を窺ふことが出來る、公が統監として在任中、鮮人は全く公に心服してゐた、それは、公が切に鮮人の利害を圖つて、撫育に努めたからであつた』(東電)

◎銀買占の奸商 密に安東へ輸出

滿洲地方に於ける現今の銀相場は金一圓を以て銀七十錢乃至八十錢の兩替にして金銀相場の差額著しきより新義州地方內地人及び支那人の奸商等は投機的暴利を得んが爲に手先を使用し一圓に付二十錢乃至二十五錢の口錢を投じて銀貨の買占めを行ひ密に安東地方に輸出せんとする徒黨ありとの事にて其筋にては目下嚴探中なりと

◎總督が繪の稽古 手本は草文譜伯の描いた一筆譜

先夜總督官邸に開かれた參謀司令官の送別宴に目下入京中の西村草文譜伯も出席したが席上譜伯は主客の希望に應じて得意の彩管を揮つた譜伯は久保田米僊の畫風を受け花鳥、山水、人物何を描いても見事である。長谷川總督熟々譜伯の腕の冴えを嘆美しつゝ眺めて居たが餘程氣に入つたと見えて富岳、菊、竹などの一筆譜を描かせてそれを手本に一稽古勵むと云ふことになつた。今の熱心から推せば今春總督が書いた達磨以上の腕が出來るだらうとの噂

◎艦上に魚彈が降る 怪異な黑龍江の夜

『初鳥』『軻風』『瓣』と共に無事任務を終了して橫須賀に凱旋せる第五驅逐隊の『如月』艦長

▲南雲大尉 は語る『本艦は三箇月以前特別任務を帶て西伯利に向つたニコリスク港に到著した時は恰かも夜半で、本艦隊の入港を誤つて解釋した全市では一齊に燈火を滅して警戒した、翌日になつて領事なども來艦し誤解が判ると反つて歡待した、次にハバロフスク市に向つたが同市はいかにも

▲秩序整然 たるもので

そこで暫時任務に就いての後陸戰隊と交代して凱旋したのである、彼地にあつた間は敵と砲火を交へると云ふ事よりも、黑龍江を上るのに非常なる困難を感じた、即ち黑龍江は廣きは二三哩、狹きは一哩の巾を有する大河であるが河の中心が斷へず移動してゐるのに水先案內が極めて

▲不完全で あるから無事に上流に上ることは中々困難であつた、それに晝夜中に河中の小魚が艦上に躍り上るには驚いたそれがあたかも小銃彈のやうである破初はそれが判らないので『敵彈艦上に落下す』と報じた步哨があつた位である』

◎惡性感冒 孟買でも猖獗 毎日七百名以上死亡す

惡性感冒の流行甚だしく孟買にて毎日七百餘名の死者を出しつゝあり(東京電報)

◎博士ℓ稱號として學位全廢 帝大の學位令改案 敎育評議の大問題

前內閣が遺した諸種の委員會議のうち敎育會議は引繼ぎ存續することこなり近く開會する筈であるがこの會議には年來の懸案であつた學制問題は殆んご前內閣時代に議了されてゐるから現內閣は敎育問題中の

◇最も難問題 であつた學位令の改正に着手しなければならぬこととなつた帝大の學制調査會常時帝大側の學位令改正に關する成案は容易に諸教授の意見の一致を見なかつた爲めに世上に傳へられたる說も區々であつたがそれでも結局博士の學位を失なして學士號と同じく稱號こすることし稱號認可の方法は從來の博士會及び總長推薦等を全廢して

◇全部論文を 提出する事とした而して其論文は各官立大學の敎授會議に於て審査し許可すべきものに對しては文部大臣これを許可することに一決した斯く決議したわけは私立大學の立場より見れば私立大學も同じく大學である以上論文審査の權利を共有したいとの意見もあらうが是は理論としては正當であるが實際上私立大學は官立大學と同樣の

◇內容を具備 してはゐらぬから私立大學が文部省から官立と同一の學位論文審査權を得ることを希望してゐても實質の異つたものに同等の待遇を與へる事が出來ぬ隨つて私立大學にも博士の學位を許すとすれば矢張り從來の私立大學の學士號の上に冠させねばならぬさうなれば結局私立大學は博士の學位を得ても官立と同等でない博士號故學位要求の眞の希望を達しないことゝなるから此審査權をば

◇帝大に握り 實行權だけ文部省に留保することにしようといふのであることの決議は從來の學位に比べると非常な改正で博士も單なる稱號となつてはしまふが學士よりも一等上位のものとして其權威は學位といふ學界最高の表彰でなくなり自然學者に對する尊敬を失はるゝやうになりはせぬかといふ說もあり私立大學は依然學位として官立と同等の博士號を望むであらうから敎育會議に於ては定めて議論百出するであらう

◎寡婦の多い後貝加爾 列車が著くと押掛けて來て遣瀨ない孤獨を慰めて居る

從軍記者 早川磐溪

際涯もなく打綴いた山火事の壯觀

東淸線及び西伯利各線に於ける汽車の不足は甚だしいが時に依ると途中で故障が起つたり運轉を中止する事は珍らしくない記者の乘つた軍用列車も一つの汽罐車で人馬や武器を滿載した貨車を四十數輛も連結したのだから速力は

★極めて遲 い十一日午後十一時チタ驛を發して十三日午後三時頃やつと日本里程四十里前後のモグザン驛に著いたのだからウエルフネウヂンスクに到著するまでには少くとも三凡間を要するだらうとの事に何れも

★顏を見合 せてうんざりして了つた沿線の風景は冬枯れとは言へ頗る好く車中の無聊を慰めるに足るが驛に著く每に西伯利の少女や少年が我等を圍んで親しげに談じかけ、去るに臨んで『左樣なら』と手を振るのには堪らなく

★嬉しさを 感ずる、聞けば此邊の驛々には戰爭と內亂のために寡婦が澤山出來たさうであるがさうした人々が通過する列車を懷しがり停車場に出て來ては遣る瀨ない孤獨の哀愁を慰めるとかチタからトルグトイ山嶺までは所謂ヤブロノイ高原帶で列車は次第に上つて行く沿線の風光は廣壯で山には

★落葉松や 白樺が密林をなして居る高原帶は限りなく山火事で熖々たる火は風に煽られ勢ひ凄じく擴がり行く樣は壯觀を極めた、トルグトイ山嶺からは下り勾配になつて居て蟻の這ふやうな列車も速力が增して一氣にモグゾン驛に達した、記者はモグゾンに到著するや否や急いで停車場內のブヘーに飛び込んで

★貪るが如 く暖かいスープを吸つた西伯利の旅行中紅茶とスープを呑む位ゐ樂みな事はないので一寸樣子が判つて來ると言葉が通じなくても大膽に飛び込むがブヘーも又旅客のために極めて便利に出來てゐて客の顏を見ると直に需めに應ずるやう準備がしてあるから慌しい汽車旅行には至極便利である

◎慶北共進會開會式順序

慶尙北道第二回物產共進會は愈來る卅一日より開催さるゝ筈なるが同日執行さる可き開會式々序は左の如しこ

▲出品人一同著席▲來賓參列▲朝鮮總督臨場(會長先導)▲奏樂▲事務長開會式の擧行を會長に申告▲會長式辭▲總督祝辭▲來賓祝辭▲祝電朗讀▲出品人總代祝辭▲閉式▲會長の先導に依る來賓の各館巡覽

◎東京全市が白國の旗を揭揚する 聯合軍がブラッセルを奪還したらば

聯合軍は近く白國首都ブラッセルを回復す可き形勢なるが愈々回復を發表せる場合は祝意を表する爲め東京全部に白耳義國旗を揭揚す可しとの議あり市會協議會にて近く決定の筈なり(東京特電)

◎京龍新炭組合成立す 安い品物を供給の目的

京龍間新炭業者の內六十四名は去る十二日同業者組合を組織し組合規約及び役員を定めたるが元來市內に販賣せる薪炭殊に木炭は實際一俵五貫入と稱するも五貫目なく又中には水分を含み或は粉炭小石等の交りたるものあり動もすれば不正手段を施せるものなしとせず又薪炭商にあらざる商人が本品の買占をなし投機的行爲に出で市價に變動を與へんとする傾向あり組合は之等の惡弊を防止するは勿論餘力のあらん限り各地方生產地と交涉し俵入目方の一定を期し場合によりては製造業者に便利を與へ可成安價の物品を供給すべしと唯小賣相場を一定する事は組合薪炭の相場を左右する嫌あるを以て顧客に提供する時價は組合員の任意とせりといふ役員左の如し

組合長苦米地造酒彌△副組合長西崎源太郎千命一△評議員橫田傳治、關繁太郎、阪西德藏△會計役碇孫市、淺田甚太郎

◎敎諭生徒七名行方不明

仙臺第二中學校第四五年生百五十名が修學旅行の途中藏王山地藏嶽附近にて敎諭二名生徒五名は折柄の風雪の爲め行方不明となり二十四日以來村民二百名大學捜索に努め居れるも尙不明なり(東京特電)

◎壯年露人續々南下す

近來壯年露人の南下する者頓に附加の傾向あり彼等は近く動員令布告せらる可しとの噂あるを以て其の徵集を遁れんが爲なる由にて人種は概ね猶太人なりこ(長春特電)

◎踏倒し

山口縣阿武郡萩町無職坪井正治(三三)福島縣伊達郡森口村無職狩野藤右衛門(四五)の兩名は朝鮮各地を食ひ詰めたる結果九月六日淸州に流れ込み本町二丁目明治館に投宿地方に出張して金貸業を營む者なりと言ひ觸らし常に大盡風を吹かしたる末宿泊料百八十八圓餘及遊興費四十餘圓を踏倒さんとして檢擧さる▲住所不定の自稱鑛山師長崎縣生の平井寬(三二)は九月二十九日夜村井町六石旅館に登樓底抜け騷ぎをなしたるが翌日三十八圓餘の勘定は旅館にて支拂ふと稱し仲居を附馬として歸りながら己は旅館の浴衣を著た儘投宿客の靴一足を竊取して逃走したるより捜査中此程安城署の手に逮捕せられたりと▲京城府黃金町四丁目無職坂崎謙介(二七)も亦明治館に投宿百二十七圓餘の飲食費を踏倒して逃走したるが去る五日本町署に於て逮捕せらる(淸州)

◎空巢狙ひ

山口縣生れ當時京城西小門野村佐市方無職奧村政市(三〇)は去る十四日仁川龍岡町鐵道社宅松山佐兵衛方の不在中に乘じ衣類八點價格二十八圓を竊取し翌十五日午後十時頃京城黃金町五丁目高原武五郎方に忍び入り婦人裝飾道具及び現金一圓在中の蟇口及び靴一足合計金百六十餘圓に相當するを竊取し黃金町三丁目郵便所內中村安太郎の使なりと詐稱して同町二丁目寺本質店に入質せんとしたるも質屋の主人中村方に同行の上現金を渡すべしとて同行を促したれば同人は事の發覺を恐れて同行の途中逃走せしが十六日直ち本町警察署の手に捕へられ檢事局に送られたり同人は文書僞造行使竊盜等前科三犯を有せりと

◎『人形の家』

二十五日夕七時より黃金町活動寫眞に於て一般黃金館に上場好評を博したるイブセン原作『人形の家』の映寫あり多數の紳士淑女參觀したるが西村樂天の說明は寫眞に一層の生彩を加へ非常なる好評を博したり

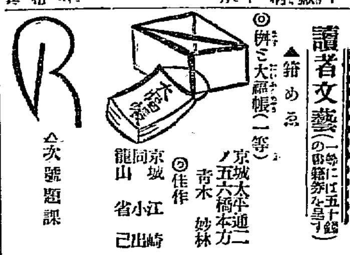
◎薰風會休會 若草町曹宗洞別院薰風會は高田老師二十五日夜內地へ出張につき十一月末迄例會を休會すべしと

讀者文藝(一等には五十錢の郵券を呈す)

▲締める

◎桝と大福帳(一等) 京城太平通二ノ五六橋本方 青木妙林

◎佳作 京城 江崎 同 小出 龍山 省己



△次號題 課

頑固なる喘息百日咳其他咳嗽を鎮むる ミツワ鎮咳錠

適應症候

肺結核肋膜炎等結核性疾患に卓効ある ミツワ結核錠

適應症候

感冒を治し解熱及鎮痛の効顯著なる ミツワ解熱錠

適應症候

感冒、流行性感冒、慢性關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛

三十錠入 金二十錢 百錠入 金七拾錢

腦及神經の疾患に能く鎮靜の効を擧ぐる ミツワ鎮靜錠

適應症候

腦病の原因となる鼻病を治癒する ミツワ鼻病液

適應症候

瀉下作用緩和確實にして腹痛を起さゞる ミツワ緩下錠

適應症候

常習便秘、腸病の便秘、神經病、腦病、婦人病等より來る便秘、其他一般便秘

久しく便通が無くても是と云ふ障碍の無いこともあるが、大抵は三日位便通が無いと、氣分が勝れず身體が倦怠くなり、頭痛や眩暈がして、心悸が亢ぶり、食慾が減り、惡心や嘔吐を催し腹部が壓されるやうに感じ、或は張るやうに感じ、眠れなくなつたり或は暴くて堪まらなくなつたりして、遂に持病を起すことがある、殊に他に病があるとき便通が良くないと、其の症候の尙惡くなることが多い。ミツワ緩下錠は緩和な下劑で、腹を痛めず連用しても習慣しないから、家庭で常習便秘其の他の便秘に用ふるのは之に限るのである。

四十錠 金拾錢 百廿錠 金貳拾錢 三百五十錠 金五十錢

發賣元 ミツワ石鹸本舖 東京本町 丸見屋商店

仁川米豆取引

母と子(四〇)

北島春石作 森田久畫

背暗(四)

志保子は慄然として飛退いた。誰にもあれ、この近所をうろ〳〵してゐるのを見咎められては一大事、我が子にどんな災害を醸す種にならうも知れぬと思つたから、折からの宵暗を効怪の幸ひに袖に顔を隠して遁れ去らんとするを、彼方は逸早くも行方に立塞がつて、

『人違ひであらば失禮ぢやが……貴女は志保子さんでなかつたかな。』と、先方も四邊を憚る秘めき聲。

『はい。あの……』と、今は遁れんとするにも遁れられず、志保子は波立つ胸を押へて立ち竦む『誰方でございましたか。』

『俺ぢや、もう見忘れたかも知れぬが、俺は森泉直樹ぢやよ。』

『呀! 森泉の叔父様で……』と吻と息、やう〳〵動揺く胸を鎮めたが、志保子は穴あれば消ねも入りたき風情『斯様な忍び姿をお目にかけまして……お恥かしうございます。』

『いや、いや、さう言はれたものでない。』と、直樹は同情深く打消して『俺には貴女の心持がよう察しられるのぢや。その後、一度お尋ね申さうと思ひながら、未だうき世を見捨た歳でもないで、他家へ縁付かれなさしはせぬかと、實は遠慮をして居つた。』

志保子は途胸を突かれ、颯と顔色を變へもしたが、四邊の暗さに先方は氣注いた様子もない。

『いゝえ、妾は唯今でもあの折の儘に。』

『すると、』三年後の今日に及ぶまで、雅巳の迷ひの夢が覺めるを待つて居られたか。』

『……はい。』

『そして、我が子の愛に引かされ、こゝまで忍んで來られたのぢやな。』

『はい、叔父様、何うぞお察しくださいまし。』

『お、貴女の衷心を推察せんで何うしやう。』と長嘆息『それにしても、何と云ふ雅巳は不心得な奴かなあ。お葉の如き毒婦に惑はされ、この貞淑な妻を離別するとは實に見下げ果てた奴ぢや。』

志保子ははら〳〵と落涙して、『あれはこそ、今更誰を怨むこともございませんが……たゞあの幸枝が不憫でなりません。』

『さうぢや、あの泣聲を聞かされては、腸を摑み出さるゝより一入の苦痛ぢやらう』と、直樹は悲憤に満ちた聲を固め、乾とばかり黒塀を睨み据ゑた。

千里眼ならぬ身の、黒塀を通して内庭を見透されず、お葉がどんな惡毒な折檻を加へてゐるか知れねど、低く高く波を打返す幸枝の悲鳴を聞けば、それとは大略の想像も付く。

『あ、あの泣聲は……』と、志保子は前の鞭で打たるゝよりも辛く、及ばぬ事とは知りながら身を揉んで『こゝに生みの母がゐやうとも知らず、あんまり折檻が酷しすぎます。あゝ、妾に何うしたらいゝでせう。』と、怨恨と悲嘆を縺交ぜた涙聲。

直樹の眼光は一段の鋭さを増して猶も黒塀を見据ゑてゐたが、

『可し俺が幸枝を助けて遣らう。』と決然として言ひ切る。

『ね! 叔父様が……』と、我を忘れて跪き、

『何うぞ、お慈悲にお助けを願ひます。』

『もう氣遣ふには及ばん。』と二足三足『然し、こゝに貴女が居つては宜しくないで、少しも早く護國寺の森へ行つて待ちなさい。直後より幸枝を連れて行くから。』

『では、何分宜しく……』

『さあ、他目にかゝつては後日の妨げともならうで早く行きなさい。』

さうは促されても、我が子の泣聲を聞きつゝ、何うしてこの場が去れやうか。無慚や、志保子は色褪せし唇を噛締め、石のやうに立竦んだまゝ動かない。それを、

『早く!少しも早く!』と直樹は無理に逐ひやり、右手に力を籠めて潜戸を押す。

◎新夫婦本位 結婚の新傾向

例年九月から十二月迄を結婚の季節と申しまして結婚をなさる方が多いのです是に就て多年澤山の新夫婦を媒酌なされた某夫人は曰く結婚に就て近頃の新しい傾向として申しますのは

◇從來結婚と 申すとお嫁さんやお婿さんよりも御兩親や兄弟方が一生懸命になつて其選擇し此の目上の方が勝手に決めたりされたやうな事が珍らしくなかつたのですが近頃は當事者たるお嫁さんなりお婿さんなりの意思を十分にお聞き入れになるやうになりました、之は從來日本の家庭では妻は夫に對して絶對的に服從すべきもの

◇子供は親に 對して絶對に其言ふ事を聞くべきものとせられて居たのが或程度まで妻なり又子供なりの意思を尊重するやうになつたからです、それと共にお嫁さんの方ではお婿さんをお選びになるのも中々確乎して參りました先まではお嫁さんの方では先方の財產とか學力とかを標準にして居られましたが近來は人格を重な條件にされるやうになりました

◇共連れ添ふ べき夫が大酒を飲まれると云ふやうな事があると、假令學問の出來るお方であつても謝絶せられる方があります、之は至極尤もな話で苟くも共白髪まで樂い家庭を作つて暮さうと言ふものが萬一お酒の爲などで夭折されては大變だからであります、夭折されないにしても大酒家に連れ添ふのは餘程の覺悟がなくてはなりせんからです

◇夫れから又 中には遊ぶ方とか品行の正しい方とかを念押してお聞きになる方もあります之も無理もありません世間には結婚してから其夫には前に子供まで儲けた仲の女があつて夫が出て來たりする事が間々あります之では幾ら辛抱しようとしても辛抱は出來ないのは當然です私は若し理想から申さば結婚の前に新夫新婦が互に

◇身體檢査を 受けて其健否證を取り交したいと存じます私の御媒酌を申した中にも結婚すると間もなく御夫人が惡性の婦人病に罹られた方がありました之は確に其新郎になられた方が獨身中に惡所通ひをなされたのを秘して居られたからでありまして誠に花嫁御に對して私は面目を失ひました

讀者の領分

▲小生南山町居住者ですが夜間隔日位に英語又は算盤を敎へると云つては失敬ですが共に研究したいと思ひます御望みの方は本紙經由……學者に限る(X・Y生)▲時節柄夜間の尺八は止して呉れ玉へ君等は門に立つても喰ひぱぐれしない樣の下準備とあれば如何樣にも感じまいだらう然れども近所には產婦もあり病人もあるにも拘らず遠慮しないのはひどいコツ〳〵節約の能力でもあるまい少し道德上の能力も發展して欲しいもんだ(近所迷惑の一人)▲被迷惑者一同より投書せられた師範學校生徒諸君云々は潔癖君の言はるゝ所ぶべき患者とは別ものではありません潔癖君の申さるゝのは九箇の傳染病以外で肺病でも無之何でも漸次に手や足や顏が腐敗して一種の臭氣を發する病氣との事ですよ(潔癖の女人)

◎敵根據地占領 潜艇戰影響如何

根據地放棄 英國海軍

…を占領したるが獨潜艇はゼーブルジュと同樣既に本國根據地に引揚げたるもの、如く同港には敵潜艇の影を認めざりしといふ獨逸の[illegible]

オステンドは潜水艇根據地としても左迄有力なる地點には非ざるも同所より英國[illegible]までは約三十哩に過ぎず本[illegible]より出動する[illegible]

る機雷を排はざる可からず而も其結果獨逸の得る所如何獨逸の考慮を要する所にして[illegible]が講和[illegible]

固守するよりも聯合國の攻撃に先立ち撤退する方利益なりと思考し且つ聯合國に對する人心の緩和策として放棄したるものと解せらる

らずゼーブルジュ、オステンドは英國沿岸に對する行動上必要なるも英國沿岸には潜水艇に對する防[illegible]周到にして獨艇は殆ど行動[illegible]

かざる以上右根據地の放棄は獨逸の爲めに甚だしき苦痛に非ず随つて大西洋其他の方面に對する行動には大なる關係なかるべし[illegible]

縮するに[illegible]水艇の更代を行ひた[illegible]るものには非ざるかと(東京)

◎新年文藝 課題及募集規定

大阪株式特電 二十五日前場

宇治川 京阪電燈 一〇八〇 一七三、四〇 一四九、六〇

クラブ白粉

○一番高尚で美しい艶の出る

白粉の付け方

白粉を付けるには先づ生地を調へなければなりません、夫には

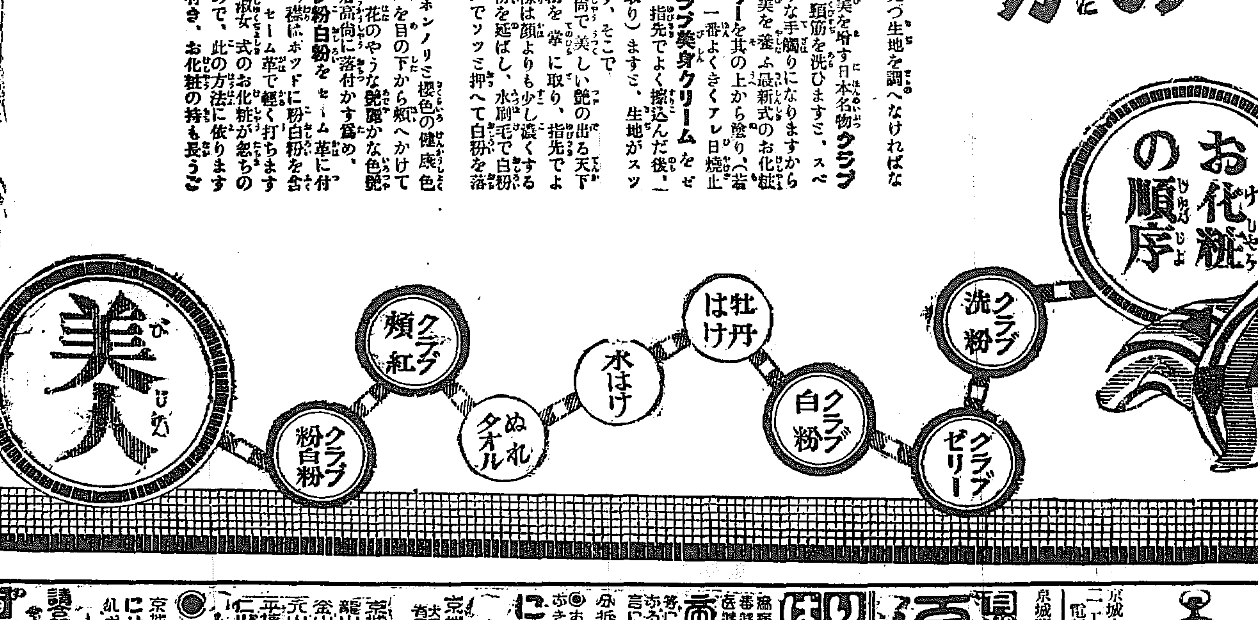
【第一に】 生地の美を增す日本名物クラブ洗粉でよく顏から頸筋を洗ひますと、スベスベと天鵞絨のやうな手觸りになりますから

【第二に】 皮膚の美を養ふ最新式のお化粧下クラブ美身ゼリーを其の上から塗り、(若し荒性の方ならば、一番よくきくアレ日燒止め兼用の美身劑クラブ美身クリームをゼリーの代りに用ひ、指先でよく擦込んだ後、濕タオルで輕く拭取り)ますと、生地がスッカリ整つて參ります、そこで

【第三に】 一番高尚で美しい艶の出る天下一品のクラブ白粉を掌に取り、指先でよく煉つて付け、(襟は顏よりも少し濃くする事)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濕タオルでソッと押へて白粉を落付かせ、夫から

【第四に】 お顏にホンノリと櫻色の健康色を出すクラブ頰紅を目の下から頰へかけて薄く刷付けますと、花のやうな艶麗かな色艶が出ます、夫を一層高尚に落付かす爲め、

【第五に】 クラブ粉白粉をセーム革に付けて顏に薄く打ち、襟はボッドに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上りますので、此の方法に依りますと、白粉もよく落付き、お化粧の持も長うございます。



最新刊

書名 著者 價 送料

成金術 岡本 一、六〇 一二

投資と利殖 安田 一、三〇 一二

△滿蒙遊記 行け大陸へ 眞繼雲山 一、二〇 一〇

學國一家論 原田 九五 六

金と銀 谷崎 一、三五 一〇

模範和文英譯 岡 九〇 六

本田幸介先生校閲 高山徹編著 ◆朝鮮農業寶鑑 定價二圓五十錢 送料十二錢

近世美術 木村 一、三〇

戰後の事業 山脇 一、五〇

日本畫の描き方 一、二〇 八

修養日訓 生の涎 一、三〇 六

△お產と育兒 吉岡彌生 一、〇〇 六

縮刷漱石文集 一、〇〇 六

日本醫語史 一、〇〇 六

覺 前田 一、二〇 八

新らしい言葉の字引 八五 六

京城本町 大阪屋號

京城本町二丁目 川合時計店 電話一九一八 振替京城一二二

懐中電燈

京城龍山等各地に僞物有 御注意

百圓 進呈 大阪北詰 大阪有田ドラッグ商會

りん病 ばい毒

帝國醫科大學病院

分析料 百圓 進呈

にせ物 東京大阪各地ににせドラッグあり 大阪有田

京城南大門外停車場通 大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部

京城黃金町三丁目 支店

龍山練兵場前停車場 支店

釜山大廳町二丁目 支店

元山本町三丁目 支店

平壤櫻町十二番地 支店

仁川宮町二丁目 支店

◎朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意を乞ふ

講習藥劑師代藥店販賣不許 全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり

龍山練兵場前停車場前ドラッグ支店